

令和3年度

教育に関する事務の管理及び執行状況の

点検・評価報告書

笠岡市教育委員会

# 目 次

I	教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について	1
II	笠岡市教育行政における事務の管理及び執行状況の点検・評価項目	3
1	教育委員会の運営状況	5
2	教育委員会が管理・執行する事務	16
3	教育行政基本方針・基本施策	19
	《「学び」「育ち」をつなぎ、自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進》	19
	基本施策1 (重点) 自立した子どもの育成	19
	(1) 確かな学力を身に付けるための教育内容・方法の充実	19
	(2) 幼児教育の充実	23
	基本施策2 (重点) 共生の心の育成	25
	(1) 豊かな人間性を育む教育の充実	25
	(2) 健康教育の充実と食育の推進	27
	(3) 学校体育, スポーツ活動の充実	29
	基本施策3 (重点) 郷土愛の育成	30
	(1) 教育内容・組織の充実	30
	基本施策4 (重点) 小中一貫教育及び学校規模適正化の実施	31
	(1) 新学習指導要領実施のための学習環境の充実	31
	基本施策5 学校施設等の整備	33
	《市民一人ひとりの豊かな学びにより地域力を高める生涯学習の推進》	35
	基本施策6 (重点) いつでも, どこでも, 学びたいときに学ぶことができる機会の提供	35
	基本施策7 学習成果を活かしたまちづくり	38
	基本施策8 (重点) 家庭・地域・学校と一体となった地域ぐるみの教育支援	39
	基本施策9 社会教育に取り組む市民や団体との協働と支援	41
	《幅広い世代が楽しめる文化・芸術の振興と担い手の育成》	43
	基本施策10 文化財の保護・活用	43
	基本施策11 竹喬美術館の活性化と館蔵品の充実	44
	基本施策12 芸術文化活動の振興・交流と担い手の育成	46
	基本施策13 (重点) カブトガニの保護とカブトガニ博物館の運営	48
	《いつでも, どこでも, 誰でも気軽に親しめる生涯スポーツの振興》	50
	基本施策14 生涯スポーツの推進	50

(1) 各種スポーツ教室・大会の開催, 地域スポーツ団体の支援・育成	50
(2) スポーツ推進委員活動の充実	51
(3) スポーツ情報の提供	52
<b>基本施策15</b> (重点) 競技スポーツの推進	53
(1) 各種スポーツ大会の開催(主催)	53
(2) 競技会等の支援	55
(3) スポーツ指導者の養成, トレーナースタッフの確保	56
(4) 優秀選手の表彰	56
(5) 笠岡市文化・スポーツ振興財団, 笠岡市スポーツ協会等との連携	58
<b>基本施策16</b> スポーツ施設の整備・充実と活用	59
(1) 施設整備及び充実	59
(2) 利用しやすい環境の整備	60
<b>III 評価委員の総合評価</b>	61
<b>IV 資料</b>	67

# I 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について

## 1 目的

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「地教行法」という。）第26条の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、教育委員会が点検・評価し、その結果を議会に報告するとともに市民に公表することが義務づけられています。

この点検・評価は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民に対する説明責任を果たしていくことを目的としています。

## 2 点検・評価の対象及び方法等

### (1) 対象

- ① 教育委員会が管理・執行する事務
- ② 第7次笠岡市総合計画（前期基本計画 平成30～令和3年度）に掲げた「学校教育の充実」、「生涯学習の推進」、「スポーツの振興」及び「歴史の継承・文化の振興・カブトガニの保護と活用」の取組のうち主なもの
- ③ 「笠岡市教育振興基本計画」に掲げた主要施策の事務・事業のうち主なもの

### (2) 方法

令和3年度における達成状況の把握を参考としながら、その取組状況について点検・評価を実施します。

- ① 基本施策  
管理執行する事務及び教育振興基本計画に掲げた主要施策を記載
- ② 目標  
点検・評価項目が目指す目標、その必要性や意図・ねらいなどを記載
- ③ 施策を推進する主な事業 重点事業・事務事業  
基本施策における主要事業等の目的、令和3年度の主な実績及び今後の方向性、決算額を記載
- ④ 評価  
目標に対する達成度や効果等について、評価を記載  
<評価指標>  
A：予定どおり目標が達成された。  
B：概ね達成された。  
C：やや目標に達成できなかった。  
D：達成できなかった。努力を要する。
- ⑤ 課題と方向性  
今後の課題・改善点及び方向性等について記載

(3) 学識経験者による知見の活用

点検・評価に当たっては、地教行法第26条第2項の規定により教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされたため、笠岡市教育委員会評価委員から意見を聴取しました。

< 笠岡市教育委員会評価委員 >

丹 生 裕 一	就実大学教育学部教授
三 谷 信 恵	元笠岡市教育委員
樋之津 秀 治	元笠岡市立中学校長

(4) 報 告

当年度分の報告を議会（総務文教委員会協議会）で行います。

(5) 公 表

ホームページ及び教育委員会事務局等での閲覧ができます。

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## Ⅱ 笠岡市教育行政における事務の管理及び執行状況の点検・評価項目

### 1 教育委員会の運営状況

- (1) 教育委員会の会議の運営  
教育委員会定例会及び臨時会の開催
- (2) 教育委員会の活動  
総合教育会議への出席
- (3) 教育委員の研修等  
研修会，その他各種行事・会議への出席
- (4) 学校及び教育施設への支援  
教育委員による学校・教育施設訪問  
教育委員と教職員の懇談会  
教育委員による学校給食訪問

### 2 教育委員会が管理・執行する事務

- (1) 教育行政の運営に関する基本方針  
令和3年度「笠岡市教育行政実施計画」を策定
- (2) 規則等の改廃  
規則，要綱，規程等の制定・改正等
- (3) 議会の議決を経るべき議案  
条例等の議案を審議
- (4) 教育関係予算  
教育行政に関する予算を審議
- (5) 教育委員会の所管に属する学校，その他の教育機関の設置又は廃止  
設置又は廃止を審議
- (6) 職員の任免に関すること  
教育委員会事務局職員の人事異動，小・中学校長等の人事異動の内申について審議
- (7) 教科用図書の採択の決定に関すること  
教科用図書の採択
- (8) 法令等で定められた諮問機関の委員の委嘱  
諮問機関の委員の委嘱
- (9) 市重要文化財の指定及び解除  
市重要文化財の指定及び解除を審議
- (10) 教育委員会の点検評価報告書の作成  
教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価を実施し，報告書の作成，議会へ報告，公表

### 3 教育行政施策体系

基本理念	施策項目 (総合計画)	基本方針	基本施策
学ぶ楽しさ 輝く個性 生き抜く力	学校教育の 充実	「学び」「育ち」をつ なぎ自立して共に生 きる子どもを育てる 学校教育の推進	1 自立した子どもの育成
			2 共生の心の育成
			3 郷土愛の育成
			4 小中一貫教育及び学校規模適正化の実施
			5 学校施設等の整備
	生涯学習の 推進	市民一人ひとりの豊 かな学びにより地域 力を高める生涯学習 の推進	6 いつでも、どこでも、学びたいときに学ぶことができ る機会の提供
			7 学習成果を活かしたまちづくり
			8 家庭・地域・学校と一体となった地域ぐるみの教育支 援
	歴史の承 継・文化の 振興・カブ トガニの保 護と活用	幅広い世代が楽しめ る文化・芸術の振興 と担い手の育成	9 社会教育に取り組む市民や団体との協働と支援
			10 文化財の保護・活用
			11 竹喬美術館の活性化と館蔵品の充実
			12 芸術文化活動の振興・交流と担い手の育成
	スポーツの 振興	いつでも、どこでも、 誰でも気軽に親しめ る生涯スポーツの振 興	13 カブトガニの保護とカブトガニ博物館の運営
			14 生涯スポーツの推進
			15 競技スポーツの推進
			16 スポーツ施設の整備・充実と活用

## 1 教育委員会の運営状況

教育長

(R4. 3. 31 現在)

職 名	氏 名	就任年月日	任 期
教 育 長	岡 田 達 也	H29. 8. 1	R 3. 4. 1~R 6. 3. 31

教育委員

(R4. 3. 31 現在)

職 名	氏 名	就任年月日	任 期
教育長職務代理者	石 井 啓 弼	H27. 12. 11	R 1. 12. 11~R 5. 12. 10
委 員	藤 谷 幸 弘	H28. 12. 17	R 2. 12. 17~R 6. 12. 16
委 員	山 下 敬 広	H29. 10. 4	R 3. 10. 4~R 7. 10. 3
委 員	東 山 琴 子	R 2. 10. 1	R 2. 10. 1~R 6. 9. 30

### (1) 教育委員会の会議の運営

教育委員会定例会 12回 (前年12回)

教育委員会臨時会 5回 (前年 2回)

月 日	定例会又は臨時会	議 案	報 告	協議報告・その他
4月23日	定 例 会	4	1	13
5月21日	定 例 会	5		5
6月18日	定 例 会	4	3	6
7月16日	定 例 会	1	1	11
7月29日	臨 時 会	1		
8月20日	定 例 会	2	1	7
9月 2日	臨 時 会	1		
9月24日	定 例 会	2	1	10
10月15日	定 例 会			11
11月19日	定 例 会		1	11
12月17日	定 例 会	2	1	14
1月21日	定 例 会			13
2月10日	臨 時 会	1		1
2月18日	定 例 会	4		7
3月10日	臨 時 会	3		
3月18日	定 例 会	3		12
3月29日	臨時会 (書面会議)	6		
計	17回	39	9	121



会議については、定例会を毎月1回、年12回開催、臨時会は、必要に応じて5回開催し、計17回開催した。

会議の開催に際しては、議案資料の内容を事前に確認し、会の円滑な進行に努めた。

会議の公開等、開かれた委員会として保護者や地域住民に情報発信し、地域に求められる活動を進めている。なお、定例会での協議のほかに教育長を含む教育委員全員で、今日的・緊急的課題について、非公式協議や意見交換を随時行っている。

#### ① 教育委員会議案・報告案件

月 日	議 案 ・ 報 告 案 件
4月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 押印を求める手続の見直しのための関係要綱の整備に関する要綱の制定について</li> <li>② 笠岡市立中学校部活動指導員の任用等に関する要綱の一部を改正する要綱について</li> <li>③ 公民館運営審議会委員の委嘱について</li> <li>④ 学校運営協議会の設置について</li> <li>⑤ 教育長の専決処分した感謝状の贈呈について</li> </ul>
5月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 学校運営協議会委員の委嘱又は任命について</li> <li>② 公民館運営審議会委員の委嘱について</li> <li>③ 笠岡市社会教育委員の委嘱について</li> <li>④ 笠岡市立カブトガニ博物館運営委員の委嘱について</li> <li>⑤ 笠岡市学校給食センター運営委員会委員の委嘱及び任命について</li> </ul>
6月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 笠岡市小中一貫教育校整備検討委員会設置要綱の制定について</li> <li>② 公民館運営審議会委員の委嘱について</li> <li>③ 笠岡市図書館協議会委員の委嘱について</li> <li>④ 笠岡市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について</li> <li>⑤ 教育長の専決処分した笠岡市地域学校協働活動推進員の委嘱について</li> <li>⑥ 教育長の専決処分した笠岡市立カブトガニ博物館運営委員会委員の委嘱について</li> <li>⑦ 教育長の専決処分した笠岡市立竹喬美術館協議会委員の委嘱について</li> </ul>
7月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 公民館運営審議会委員の委嘱について</li> <li>② 教育長の専決処分した感謝状の贈呈について</li> </ul>
7月29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 令和4年度使用教科用図書（中学校）の採択について</li> </ul>
8月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 教育長の兼業について</li> <li>② 笠岡市子ども読書活動推進計画策定委員の委嘱について</li> </ul>

8月20日	③ 教育長の専決処分した感謝状の贈呈について
9月 2日	① 陶山公民館館長の任命について
9月24日	① 笠岡市立小・中学校の学校規模適正化計画書の改訂について ② 笠岡東公民館主事の任命について ③ 教育長の専決処分した感謝状の贈呈について
11月19日	① 教育長の専決処分した感謝状の贈呈について
12月17日	① 令和3年度末校長・教員等人事異動内申方針（案）について ② 公民館運営審議会委員の委嘱について ③ 教育長の専決処分した感謝状の贈呈について
2月10日	① 笠岡市教育大綱について
2月18日	① 笠岡市立幼稚園園則の一部を改正する規則について ② 笠岡市立幼稚園一時預かり保育事業実施要綱の一部を改正する要綱について ③ 笠岡市教育集会所条例施行規則を廃止する規則について ④ 笠岡市社会教育委員の委嘱について
3月10日	① 小・中学校長等の人事異動の内申について ② 幼稚園長等の人事異動について ③ 感謝状の贈呈について
3月18日	① 感謝状の贈呈について ② 公民館運営審議会委員の委嘱について ③ 感謝状の贈呈について
3月29日	① 笠岡市学校給食センター設置条例施行規則の一部を改正する規則について ② 笠岡市総合教育相談支援センター事業実施要綱について ③ 笠岡市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について ④ 笠岡市教育委員会事務局事務決裁規則の一部を改正する規則について ⑤ 市長の権限に属する事務の一部を教育委員会に委任する規則の一部を改正する規則について ⑥ 笠岡市青少年育成センター設置規則を廃止する規則について

② 教育委員会協議報告・その他事項

月 日	協 議 報 告 事 項
4月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 令和3年度一般会計4月補正予算（教育関係）について</li> <li>② 令和3年度校長・教頭・養護・事務一覧について</li> <li>③ 令和3年度幼小中在籍数について</li> <li>④ 令和3年度笠岡市教育委員会・笠岡市教育研修所等研究指定校園について</li> <li>⑤ 小中一貫教育推進計画並びに学校規模適正化計画について</li> <li>⑥ 笠岡子どもフェスティバルについて</li> <li>⑦ カブトガニ保護啓発運動の開催について</li> <li>⑧ 笠岡市立カブトガニ博物館「惣路紀通化石コレクション ～序章～」の開催について</li> <li>⑨ 日本遺産まんが「石の島のひみつ」の活用について</li> <li>⑩ 四国アイランドリーグ plus 公式戦の開催について</li> <li>⑪ 令和3年度教育行政実施計画について</li> <li>⑫ 笠岡市立郷土館企画展示「白石島の帆印帳と遠眼鏡」について</li> <li>⑬ 令和3年度竹喬美術館展覧会予定について</li> </ul>
5月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 小中一貫教育推進計画並びに学校規模適正化計画について</li> <li>② 笠岡市木山捷平文学選奨の作品募集について</li> <li>③ 笠岡市成人式の開催日程について</li> <li>④ 笠岡市立竹喬美術館 特別陳列「日本の溪谷を描く」について</li> <li>⑤ 四国アイランドリーグ plus 公式戦について</li> </ul>
6月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 令和3年度一般会計6月補正予算（教育関係）について</li> <li>② 「小中一貫教育」並びに「学校規模適正化計画」について</li> <li>③ 令和3年度いきいきチャレンジたいけんについて</li> <li>④ 令和3年6月笠岡市議会定例会質問・回答について</li> <li>⑤ 各種団体からの寄附の申し出について</li> <li>⑥ 令和3年度竹喬美術館展覧会予定（変更調整）について</li> </ul>
7月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 学校規模適正化計画及び小中一貫教育について</li> <li>② 夏休み4館連携企画「制覇をめざせ！クイズ&amp;スタンプラリー」について</li> <li>③ 笠岡ふるさと再発見事業「もっと 笠岡へ愛着を持ち隊 いざ出陣！！」の実施について</li> <li>④ 笠岡市立図書館への笠岡ライオンズクラブからの寄附受納について</li> <li>⑤ 笠岡市立カブトガニ博物館の各種事業について <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別展示「鎧（アーマー）につつまれたいきもの」展につい</li> </ul> </li> </ul>

7月16日	<p>て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タッチングプール及び水槽展示について</li> <li>・幼生放流について</li> </ul> <p>⑥ 笠岡市立竹喬美術館の各種事業等について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別陳列「瀬戸内の四季 森谷南人子の世界」について</li> <li>・夏休み小学生向け企画「まるごと美術館探検！」について</li> <li>・国際ソロプチミスト笠岡からの寄附受納について</li> </ul> <p>⑦ 津雲貝塚から出土した人骨に関する研究情報について</p> <p>⑧ 貫閲講堂について</p> <p>⑨ 令和3年度笠岡高校の「地域学」ACT事業における竹喬美術館及びカプトガニ博物館の取組について</p> <p>⑩ 令和3年度「たくましい笠岡っ子」について</p> <p>⑪ 東京オリンピック BMXレーシング日本代表 長迫吉拓選手のテレビ応援について</p>
8月20日	<p>① 教育便覧について</p> <p>② 学校規模適正化計画及び小中一貫教育について</p> <p>③ 離島留学について</p> <p>④ 陶山公民館館長の退職について</p> <p>⑤ 夏休み カプトガニ博物館・郷土館連携事業</p> <p>おー どんす 「Oh! 殿洲～土器といきもの観察会～」について</p> <p>⑥ 笠岡市立カプトガニ博物館「加藤英明先生講演会」について</p> <p>⑦ 公共施設の開館の状況について</p>
9月24日	<p>① 令和3年度一般会計9月補正予算（教育関係）について</p> <p>② 令和3年9月笠岡市議会定例会質問・回答について</p> <p>③ 学力・学習状況調査について</p> <p>④ 笠岡市立図書館令和3年度要覧について</p> <p>⑤ 笠岡市立竹喬美術館特別展「歴史を旅する 谷口香嶠（たにくち こうきょう）」について</p> <p>⑥ 令和2年度教育に関する事務の管理及び執行の点検・評価報告書（案）について</p> <p>⑦ 「白石島英語留学事業」について</p> <p>⑧ 小中一貫教育に関するQ&amp;Aについて</p> <p>⑨ いきいきオープンスクールについて</p> <p>⑩ 岡山シーガルズの開幕戦について</p>
10月15日	<p>① （仮称）富岡認定こども園の園名決定について</p> <p>② 学校規模適正化計画及び小中一貫教育について</p>

10月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>③ 令和3年度笠岡市小・中学校「いきいきオープンスクール」の開催について</li> <li>④ 第16回笠岡市青少年スピーチコンテストについて</li> <li>⑤ 第44回笠岡市青少年健全育成推進大会について</li> <li>⑥ 第68回笠岡市文化祭・第44回笠岡市芸能祭・第46回笠岡市菊花展について</li> <li>⑦ 森田思軒顕彰講演会について</li> <li>⑧ 笠岡市立カブトガニ博物館「学芸員チャレンジ(化石発掘体験)高校生対象」について</li> <li>⑨ 「第16回べいふぁーむ駅伝大会」の開催について</li> <li>⑩ 令和3年度笠岡市教育便覧について</li> <li>⑪ 貫閲講堂について</li> </ul>
11月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 学校規模適正化計画及び小中一貫教育について</li> <li>② 令和2年度笠岡市小中学校におけるいじめ及び長欠・不登校の状況について</li> <li>③ 令和3年度笠岡市小・中学校「いきいきオープンスクール」の実施状況について</li> <li>④ 第17回笠岡市木山捷平文学選奨作品募集結果について</li> <li>⑤ 第45回笠岡市写真展について</li> <li>⑥ 貫閲講堂の現状報告について</li> <li>⑦ 笠岡市立竹喬美術館「特別陳列 アートの今・2021『— うつわ —』展」について</li> <li>⑧ 笠岡市立カブトガニ博物館への笠岡商工会議所女性会からの寄附について</li> <li>⑨ 笠岡市立図書館2階トイレ改修工事に伴う休館について</li> <li>⑩ 令和2年度教育に関する事務の管理及び執行の点検・評価報告書について</li> <li>⑪ 学校等教育施設の訪問について</li> </ul>
12月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 令和3年度一般会計12月補正予算(教育関係)について</li> <li>② 令和3年12月笠岡市議会定例会質問・回答について</li> <li>③ 学校規模適正化計画及び小中一貫教育について</li> <li>④ 令和3年度笠岡市小・中学校「いきいきオープンスクール」確定値について</li> <li>⑤ 令和2年度・令和3年度笠岡市成人式の開催について</li> <li>⑥ 令和3年度笠岡市民大学教養講座の開催について</li> <li>⑦ 笠岡市民会館ホール舞台照明の更新工事に伴う施設の一部利用中止について</li> </ul>

12月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑧ 「笠岡市未来たまご善行表彰実施要項（案）」について</li> <li>⑨ 公共施設予約システムのリニューアルについて</li> <li>⑩ カブトガニ駅伝の代替大会について</li> <li>⑪ 令和2年度のいじめの解消率について</li> <li>⑫ 「日本の版画 万華鏡」について</li> <li>⑬ 令和4年度教育委員会開催予定（案）について</li> <li>⑭ 令和3年度学校教育施設訪問（案）について</li> </ul>
1月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 笠岡市教育大綱の見直しについて</li> <li>② 令和4年度教育委員会開催日程について</li> <li>③ 学校規模適正化計画及び小中一貫教育について</li> <li>④ 令和3年度卒業式及び令和4年度始業式等の日程について</li> <li>⑤ 令和4年度幼稚園・小学校・中学校の園児・児童・生徒数の見込について</li> <li>⑥ 第34回笠岡市人権文化祭について</li> <li>⑦ 令和3年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果について</li> <li>⑧ 笠岡市及び里庄町青少年育成協議会について</li> <li>⑨ 令和2年度笠岡市成人式の開催結果について</li> <li>⑩ 第33回笠岡市生涯学習フェスティバルの開催について</li> <li>⑪ 笠岡市立カブトガニ博物館「特別陳列 惣路紀通化石コレクション展」について</li> <li>⑫ 学校給食センター見学会について</li> <li>⑬ 笠岡陸上競技場市民開放デーについて</li> </ul>
2月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 学校規模適正化について</li> </ul>
2月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 笠岡市教育振興基本計画について</li> <li>② 令和4年度一般会計当初予算（教育関係）について</li> <li>③ 学校規模適正化計画及び小中一貫教育について</li> <li>④ 笠岡市立小・中学校の卒業式について</li> <li>⑤ 第33回笠岡市生涯学習フェスティバルの開催結果について</li> <li>⑥ 笠岡市立竹喬美術館 特別陳列「大正の文人画ネットワーク—加野コレクションを中心に—」について</li> <li>⑦ 笠岡の海で採れた「海苔」の提供について</li> </ul>
3月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 令和3年度笠岡市一般会計3月補正予算（教育関係）について</li> <li>② 令和4年3月笠岡市議会定例会質問・回答について</li> <li>③ 学校規模適正化計画及び小中一貫教育について</li> <li>④ 木山捷平生家ワークショップ 講話と生家と朗読会「木山捷平の居た風景」の開催について</li> <li>⑤ 笠岡市立図書館講演会「村上海賊と笠岡」の開催について</li> </ul>

3月18日	⑥ 令和4年度給食費について ⑦ 「大正の文人画—加野コレクションを中心に—」について ⑧ 第17回木山捷平文学選奨の作品集について ⑨ B&G財団助成事業 偉人漫画の制作事業について ⑩ 「市制施行70周年記念事業(案)」について ⑪ 子どもフェスティバルについて ⑫ 成人式のあり方について
-------	---

## (2) 教育委員会の活動

### <市長との意見交換>

総合教育会議において、学校規模適正化、笠岡市教育大綱、小中一貫教育の推進及びタブレットの活用状況について市長と教育委員との意見交換を行った。

月 日	場 所	内 容
9月2日	市 長 室	学校規模適正化
2月10日	市 長 室	笠岡市教育大綱、小中一貫教育推進の経過報告、 タブレットの活用状況、学校規模適正化

### <市議会への出席>

6月定例会	6日間
9月定例会	7日間
12月定例会	6日間
1月臨時会	1日間
3月定例会	7日間
総務文教委員会	毎月1回

## (3) 教育委員の研修等

岡山県都市教育委員会教育長協議会定例会、県教育長と市町村教育長との意見交換会等へ参加し、直面している課題や今後の取組について研修した。

月 日	会議・研修会等	場 所
4月23日	令和3年度教育問題懇談会	オンライン
5月13日	岡山県都市教育委員会教育長協議会第1回定例会	総社市総合福祉センター
6月 8日	P T A等指導者人権研修会	オンライン
7月20日	令和3年度7月期教育長連絡会議	ピュアリティまきび

8月29日	ひとづくり・まちづくりフォーラム	オンライン
10月11日	県教育長と市町村教育長との意見交換会	オンライン
10月27日	令和3年10月期教育長連絡会議	ピュアリティまきび
11月2日	府中市小中一貫教育研究大会	府中学園
11月29日	市町村教育委員会委員研修会	オンライン

○その他各種行事・会議への出席等

月 日	行 事 等	場 所
4月1日	辞令交付式	笠岡市中央公民館
4月4日	飛島「フリースクール育海」開校記念式典	フリースクール育海
4月6日	春の交通安全市民運動推進大会	笠岡市民会館
4月20日	校園長会	教育委員会会議室
4月26日	藤井育英会監査	教育委員会小会議室
5月6日	臨時校園長会	教育委員会会議室
5月9日	虚心忌（小野竹喬命日式典）	竹喬美術館
5月11日	教頭会	教育委員会会議室
5月15日	高知ファイティングドックス交流試合	笠岡どんぐり球場
5月24日	笠岡市特別支援教育推進委員会	笠岡市役所
5月25日	藤井育英会総会	笠岡市役所
6月9日	県議との意見交換会	笠岡市役所
6月21日	校園長会	教育委員会会議室
6月22日	笠岡警察署協議会	書面会議
6月23日	笠岡市文化・スポーツ振興財団 第1回評議員会	書面会議
7月1日	辞令交付式	笠岡市役所
7月5日	笠岡市青少年健全育成連絡協議会総会	笠岡市役所
7月6日	第7次笠岡市総合計画審議会	笠岡市役所
7月9日	第1回市内県立高等学校長との意見交換会	市長室
7月10日	長迫吉拓選手を応援・激励する会	笠岡グランドホテル
7月12日	校園長会	教育委員会会議室
7月21日	竹喬美術館協議会	笠岡市民会館
7月24日	笠岡小さな映画館プロジェクト記念イベント	井戸会館
7月28日	第7次笠岡市総合計画審議会	笠岡市役所



7月30日	笠岡市要保護児童対策地域協議会代表者会	サンライフ笠岡
8月5日	笠岡市交通安全対策協議会	市民活動支援センター
8月6日	鎮魂際	笠岡市中央公民館
8月13日	パラリンピック採火式	笠岡市陸上競技場
8月18日	笠岡市PTA連合会令和4年度予算要望	教育委員会会議室
8月19日	校園長会	笠岡市役所
8月20日	白石島英語留学	白石島
8月24日	第7次笠岡市総合計画審議会	笠岡市役所
8月30日	教育相談室運営委員会	笠岡市教育相談室
9月1日	辞令交付式	教育長室
9月3日	笠岡市特別支援教育推進委員会	笠岡市役所
9月8日	長迫吉拓選手報告会	笠岡市役所
9月24日	校園長会	教育委員会会議室
9月28日	図書館協議会・子ども読書活動推進計画策 定委員会	笠岡市役所
〃	笠岡警察署協議会	笠岡警察署
10月1日	辞令交付式	教育長室
10月4日	笠岡市青少年健全育成連絡協議会役員会	笠岡市役所
10月5日	辞令交付式	市長室
10月11日	校園長会	教育委員会会議室
〃	第1回成人式実行委員会	笠岡市中央公民館
10月24日	第16回べいふあーむ駅伝大会	笠岡市陸上競技場
10月28日 10月29日 11月1日	オープンスクール	市内小中学校
11月1日	虐待防止川柳受賞作品表彰式	笠岡市役所
11月2日	子ども子育て推進会議	笠岡市保健センター
11月3日	笠岡市文化の日記念表彰式	笠岡グランドホテル
〃	笠岡市菊花展	笠岡市民会館
11月4日 11月5日	オープンスクール	市内小中学校
11月7日	第68回笠岡市文化祭	笠岡市民会館
11月10日	青少年健全育成街頭キャンペーン	笠岡駅前
11月13日	森田思軒顕彰講演会	笠岡市立図書館
11月14日	第16回笠岡市青少年スピーチコンテスト	笠岡市中央公民館

1 1月16日	校園長会	教育委員会会議室
1 1月20日	笠岡市戦没者追悼式	笠岡市民会館
1 1月23日	笠岡市青少年健全育成推進大会	笠岡市民会館
1 1月29日	第2回市内高等学校長との意見交換会	市長室
1 2月 5日	育成会岡山大会	笠岡市民会館
1 2月12日	笠岡市人権週間のつどい	笠岡市保健センター
1 2月14日	校園長会	教育委員会会議室
1 2月19日	カブトガニ駅伝代替イベント	笠岡市陸上競技場
1 2月20日	第2回成人式実行委員会	笠岡市中央公民館
1 2月22日	竹喬美術館協議会	笠岡市民会館
1月10日	令和2年度成人式	笠岡市民会館
1月16日	児童生徒美術展	笠岡市民会館
1月25日	校園長会	教育委員会会議室
1月26日	第1回人権教育推進委員会	笠岡市民会館
1月28日	笠岡警察署協議会	笠岡警察署
2月 8日	日本遺産推進協議会総会	WEB会議
2月12日	第33回生涯学習フェスティバル	笠岡市民会館
2月15日	校園長会	教育委員会会議室
2月20日	笠岡市美術展表彰式	笠岡市民会館
2月21日	第3回成人式実行委員会	笠岡市中央公民館
2月22日	井戸平左衛門賞表彰式	笠岡市中央公民館
2月24日	笠岡市青少年問題協議会	教育委員会会議室
2月25日	(公財)笠岡市文化・スポーツ振興財団第2回理事会	教育委員会会議室
〃	笠岡市善行表彰式	市長室
3月 6日	第17回笠岡市木山捷平文学選奨表彰式	笠岡市保健センター
3月22日	(公財)笠岡市文化・スポーツ振興財団第2回評議員会	教育委員会会議室
〃	笠岡市特別支援教育推進委員会	笠岡市役所
3月25日	笠岡市民会館運営委員会	笠岡市民会館
〃	金浦中学校ブロック小中一貫教育校整備検討委員会	教育委員会会議室
3月27日	笠岡市立図書館講演会「村上海賊と笠岡」	笠岡市保健センター
3月28日	笠岡市要保護児童対策地域協議会代表者会	笠岡市保健センター
3月31日	退職辞令交付式	笠岡市中央公民館

#### (4) 学校及び教育施設への支援

##### ○教育委員による学校・教育施設訪問

学校・教育施設への訪問を予定していたが、学校をはじめとした教育現場への新型コロナウイルス感染症の感染拡大等を勘案し、学校への訪問を控え、教育施設への訪問のみに変更した。(前年度 幼稚園, 小学校, 中学校, 教育施設の訪問実績なし)

月 日	学 校 等	教育施設等
2月18日	中 止	木山捷平生家 カブトガニ博物館

今後は、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら、各学校（園）の授業・部活動状況、施設整備状況、地域との連携等の実情を視察し、抱える課題について意見交換していく。

##### ○教育委員による学校給食訪問

学校訪問に併せて行っている、学校給食センター（共同調理場）及び島しょ部校（単独調理場）の学校給食の試食についても、新型コロナウイルス感染症拡大の状況のため、中止とした。

月 日	学 校 等	調理施設
—	中 止	中 止

## 2 教育委員会が管理・執行する事務

### (1) 教育行政の運営に関する基本方針

令和元年度に策定した「第2期笠岡市教育振興基本計画」の基本理念である“学ぶ楽しさ、輝く個性、生き抜く力”に基づき、「学び」「育ち」をつなぎ、自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進」5施策、「市民一人ひとりの豊かな学びにより地域力を高める生涯学習の推進」4施策、「幅広い世代が楽しめる文化・芸術の振興と担い手の育成」4施策、「いつでも、どこでも、誰でも気軽に楽しめる生涯スポーツの振興」3施策の各教育行政基本施策を推進した。

### (2) 規則等の改廃

規則、要綱の制定・改正・廃止を行った。

- ①押印を求める手続の見直しのための関係要綱の整備に関する要綱の制定について
- ②笠岡市立中学校部活動指導員の任用等に関する要綱の一部を改正する要綱について
- ③笠岡市小中一貫教育校整備検討委員会設置要綱の制定について
- ④笠岡市立幼稚園園則の一部を改正する規則について

- ⑤笠岡市教育集会所条例施行規則を廃止する規則について
- ⑥笠岡市立幼稚園一時預かり保育事業実施要綱の一部を改正する要綱について
- ⑦笠岡市学校給食センター設置条例施行規則の一部を改正する規則について
- ⑧笠岡市総合教育相談支援センター事業実施要綱について
- ⑨笠岡市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について
- ⑩笠岡市教育委員会事務局事務決裁規則の一部を改正する規則について

(3) 教育関係予算

教育行政に関する令和4年度当初及び令和3年度補正予算を審議した。

(4) 教育委員会の所管に属する学校，その他の教育機関の設置又は廃止

富岡幼稚園廃園，白石幼稚園廃園

(5) 職員の任免に関すること

教育委員会事務局職員の人事異動，小・中学校長等の人事異動の内申，幼稚園長等の人事異動，地区公民館長の任命について審議した。

(6) 教科用図書の採択の決定に関すること

中学校社会科（歴史）

(7) 法令等で定められた諮問機関の委員の委嘱

公民館運営審議会委員，学校運営協議会委員，笠岡市社会教育委員，笠岡市立カブトガニ博物館運営委員会委員，笠岡市学校給食センター運営委員会委員，笠岡市図書館協議会委員，笠岡市地域学校協働活動推進員，笠岡市立竹喬美術館協議会委員，笠岡市子ども読書活動推進計画策定委員 を委嘱した。

(8) 市重要文化財の指定及び解除

指定及び解除はなかった。

(9) 教育委員会の点検評価報告書の作成

令和2年度の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価を実施し，報告書の作成を行った。

## 評価

- 2年連続で中止とした学校・教育施設への訪問については、教育現場への新型コロナウイルス感染症の感染拡大等を勘案する中で、訪問先を学校から教育施設へ変更することにより、2箇所の訪問を実施した。
- 毎月の定例会や必要に応じて開催される臨時会での報告、学校における新型コロナウイルス感染症の状況報告、そのほか今日的・緊急的課題について、教育長を含む教育委員全員で、非公式協議や意見交換、メールでの報告等を随時行うなど、教育委員会として、様々な情報を共有することができた。
- 総合教育会議の開催を通して、学校規模適正化、笠岡市教育大綱、小中一貫教育の推進及びタブレットの活用状況などについて、情報を共有するとともに、積極的な意見交換を行うことができた。特に、笠岡小学校と今井小学校の統合に向けた取組等については、進捗状況や課題、今後の対応策などを共有することにより、共通認識、共通理解を深めた。

A

## 課題と方向性

- 教育施設への訪問については、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえながらの実施となるため、学校への訪問が困難な場合には、GIGAスクール構想により整備された通信環境を活用したオンラインでの実施など、新たな方法についても考えていきたい。
- 毎月の定例会等での議事及び協議・報告については公開としており、申出により傍聴することができるが、令和4年度より議事録をホームページ上で公開することで、市民により開かれた教育委員会となるようにしていく。
- 市長と教育委員会が、円滑に意思疎通を図り、本市教育の課題、目指す姿等を共有することが、より効果的に教育行政を推進していくことにつながると考えている。引き続き、総合教育会議を通して、様々な課題や今後の方針等を共有しながら、連携を図っていきたい。

### 3 教育行政基本方針・基本施策

#### 《「学び」「育ち」をつなぎ自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進》

#### 基本施策1 (重点) 自立した子どもの育成

(学校教育課)

#### 1-(1) 確かな学力を身に付けるための教育内容・方法の充実

#### 目 標

子どもたちが落ち着いて学習に取り組み、友達と切磋琢磨する中で、基礎・基本の定着を図ります。さらに個に応じたきめ細かな指導やICT機器の活用等の指導方法の工夫、改善により、学ぶ楽しさを実感させ、授業や家庭学習等に主体的に取り組む意欲や態度を育成します。

#### 施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和3年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
重点	少人数指導研究事業、 非常勤講師等単市加 配配置計画	<p>●県の加配を活用して少人数指導を実施したり、単市で非常勤講師を配置して単学級での算数や少人数での数学・英語の授業を実施したりする。学習内容の積み上げが特に重要な、こうした教科の指導を充実させることで、児童生徒の学力向上を図る。</p> <p>◆単市で笠岡東中学校、笠岡西中学校及び金浦中学校に英語免許保有者と数学免許保有者4名の非常勤講師を配置した。</p> <p>▲児童生徒の学習意欲の向上、及び教員の指導力向上を図る。</p>	12,124
重点	小学校理科観察実験 アシスタントの配置 事業	<p>●主として5、6年の理科の授業に対して外部人材を観察実験アシスタントとして配置することにより、授業における観察、実験活動の充実及び教員の資質向上を図るとともに、小学校における理科教育の充実に資する。</p> <p>◆配置校 笠岡小・中央小・金浦小・城見小・大井小 吉田小・北川小・大島小・神内小 支援員3人</p> <p>▲専門的な支援・アドバイスにより、児童の理解面、技能面での向上を図る。</p>	2,979
重点	小1グッドスタート 支援事業	<p>●小学校第1学年において、30人以上の学級（1学級でもあれば学校の1学年全ての学級に）に、学習面や生活面をサポートする支援員を配置して「小1プロブレム」への対応を図り、小学校のスタートを心豊かで、充実した成長の場になるようにする。</p> <p>◆配置校 中央小・金浦小 支援員 4人</p>	3,954

		▲児童がスムーズに学校生活が送れるよう支援する。	
重点	学習の機会の充実事業	<p>●児童生徒の学習に対する意欲・関心を高め、学習習慣の定着を図るために、放課後、土曜日、夏期休業中に学習の場を提供することで、学習内容の確実な定着を図り、児童生徒の学力向上に資する。</p> <p>◆かさおか夏チャレンジ事業 参加人数 211人 実施場所 市内12小学校 かさおかホリデーチャレンジ学習支援事業 学習会（土曜日） 月1回程度、参加児童 103人 実施場所 市内13小学校 放課後学習サポート事業 参加人数 121人 実施場所 市内10小学校 142人 市内4中学校</p> <p>▲継続的に学習を行うことで、児童の学習習慣の定着と学力向上を図る。</p>	1,894
重点	笠岡市中学生学力向上に向けた検定チャレンジ	<p>●検定に向け自主的・積極的に取り組むことで、学習意欲及び基礎学力の向上を図る。</p> <p>◆英語検定 115名 数学検定 24名 漢字検定 56名</p> <p>▲継続的に取り組むことで、学習意欲及び基礎学力の向上を図る。</p>	794
重点	新学習指導要領に対応した小・中学校ICT環境整備事業	<p>●国の『平成30年度以降の学校におけるICT環境の整備方針』に基づき、「学習者用コンピュータを3クラスに1クラス分程度整備」「超高速インターネットの100%整備」「教師のICT活用指導力の改善」を行い、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整え、これらを適切に活用した学習活動の充実を図る。</p> <p>◆授業支援システム、無線LAN環境等の整備 6年間リース</p> <p>▲メディアや情報を有効に活用させながら、児童の情報活用能力の育成を図る。</p>	44,698
重点	ICT支援員配置事業	<p>●授業等で使用するICT機器の活用支援を行うICT支援員を市内小中各校に月150時間を定期的に派遣するとともに、状況に応じて教育委員会事務局や各校へ訪問できる人員を配置し、「授業におけるICT支援」「校務におけるICT支援」を行うことで、教員の負担や校務処理を軽減し、児童生徒に向き合う時間を確保する。</p> <p>◆派遣校 小学校 16校</p>	52,800

		<p>中学校 9校(小北中含む)</p> <p>学校 ICT 支援員 12人</p> <p>▲機器の設定や細かな操作方法等, 教職員への支援から, 生徒への技術指導や ICT 機器を用いた授業のサポートなど, 各校の要望に応じて, 臨機応変に支援することで授業内容の充実を図る。</p>	
重点	デジタル教材活用事業	<p>●児童生徒の「基礎的・基本的な知識・技能の習得」等のために有用なフラッシュ型教材, クラウド上のドリル教材等を活用し, わかりやすい授業を展開したり, 家庭学習を充実させたりすることで児童生徒の学力向上を図る。</p> <p>◆より効果的な活用を図るために, ICT 支援員などによる活用促進を図った。</p> <p>▲教員が工夫しながら活用することで, 児童に分かりやすい授業を展開することができ, 学力向上に寄与する。</p>	2,281
重点	外国語指導助手配置事業	<p>●児童生徒の外国語に対する関心を高め, 国際理解等に係る認識を醸成することを目的に, 生きた英語に触れる機会を確保することで, コミュニケーション能力の向上を図る。</p> <p>◆外国語指導助手 (ALT) を 9 名配置した。</p> <p>配置校 小学校 16 校 中学校 9 校 (小北中含む)</p> <p>▲英語の授業において, 担任を補佐し, 生きた英語を子どもたちに伝えることで, 生徒の意欲関心の向上につなげる。</p>	44,088
基本	いきいき交流スクール事業	<p>●小規模校が増加する中で, 子どもたちが授業等を通して, 多様な考えや多くの人間性に触れる場を意図的, 計画的に設定し, 一人ひとりの子どもの主体的に学ぼうとする心情や豊かな感性の育成を図る</p> <p>◆参加校: 神島外小学校, 北木小学校, 真鍋小学校, 六島小学校</p> <p>▲複数の小規模校が教科の学習等をともに行うなど授業を通じた学校間・地域間の交流活動を推進する。</p>	155
基本	転入学特別制度	<p>●豊かな自然環境や少人数の中での教育活動を特色とした小・中学校を指定し, その教育方針に賛同する児童生徒並びに保護者に対して, 特別に入学又は転入学を認めることにより, 特色ある学校生活を送ることができるようにする。</p> <p>◆「わくわくシーサイドスクール」活用児童: 0名 「神島外小学校転入学特別制度」活用児童: 1名 「神島外中学校転入学特別制度」活用生徒: 12名</p> <p>▲極小規模校のメリットを生かし, その教育方針に賛同する</p>	—



		児童生徒並びに保護者に対して、特色ある学校生活を送ることができるようにする。	
基本	若手教員研修会事業 (学びウィーク)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学校教育充実アドバイザーのこれまでの経験や取り組みを聞いたり、授業づくりの演習等から授業の改善点、学習集団づくりの留意点について考えたりすることを通して、自身の教師力向上を図る。</li> <li>◆7月23日～8月3日実施 学校教育充実アドバイザーより授業や学級経営で使える技や工夫を学ぶ研修会を実施</li> <li>▲学校教育充実アドバイザーを活用し、教師力向上を目指す研修を実施する。</li> </ul>	—
基本	指導者用デジタル教科書整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●指導者用デジタル教科書を整備することにより、教員が日常的に工夫しながら活用し、分かりやすい授業を展開することで、児童生徒の学力向上を図る。</li> <li>◆教科書に準拠した指導者用デジタル教科書を整備、活用 小学校全学年（国語・算数・理科・社会） 中学校全学年（国語・数学・理科・社会・英語）</li> <li>▲教員が有効に活用してわかりやすい授業を行う。</li> </ul>	8,670

## 評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>●児童生徒1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワークの整備とその活用をサポートするICT支援員の配置により、ICT活用による授業改善の環境を整えたり、補充学習の充実を図ったりしているが、学力・学習状況調査の結果は未だ十分には改善されていない。</li> <li>●小中一貫教育の本格実施に向け、中学校ブロック内の教員同士の研修や児童生徒の交流活動がさらに充実した。中学校ブロックの目指す子ども像に向け、各ブロックの実態に合った部会を設けて小中の学力向上の取組を協議したり、乗り入れ授業を行ったりして、指導法の共有や授業改善が進んだ。また、小学校同士の合同授業や、小中の交流活動に取り組み、ブロックで課題解決に取り組む意識が根付いてきた。</li> <li>●学習規律の徹底や家庭学習の手引の作成、基本的な生活習慣の定着等、ブロック内の小中学校が連携して取り組んでいる。</li> </ul>	C
---	---

## 課題と方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>●確かな学力を身に付ける取組として、中学校ブロックでの研究を推進し、教員の意識改革や授業改善を行う。家庭学習では一人一台端末の持ち帰りにより、個別に最適化された学習活動を充実させると共に、放課後や土曜日を活用した補充学習に講師を確保しながら実施し、学習習慣の定着を図る。</li> <li>●家庭学習の時間や内容について、キャリア教育の視点をもって中学校ブロックで9年間の学びを見</li> </ul>
--

通した取組を行う。

- G I G Aスクール構想のもと、授業改善による学力向上、児童生徒の個別最適化された学習を充実させるため、教職員の意識改革とスキル向上を一層進める。
- 就学前教育と義務教育の円滑な接続を図り、切れ目のない指導・支援を行う体制をつくる。

## 基本施策 1 - (2) 幼児教育の充実

### 目 標

幼児期の教育は、子どもたちの生きる力の基礎となる心情、意欲、態度を育てるという重要な役割を担っています。認定こども園、保育所、幼稚園で多様な体験を通して学んできたことを小学校につなぐためにこ、保、幼と小学校の連携を図ります。さらに、家庭や地域との連携を図り、子育て支援活動を充実させます。

### 施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和3年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
重点	こ、保、幼と小学校連携推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●認定こども園、保育所（園）、幼稚園と小学校との連携を深め、互いの教育を理解するとともに、接続カリキュラムを実施することにより、就学前教育と小学校教育を円滑に接続する。</li> <li>◆接続カリキュラムを基に、各ブロックごとにおいて、子ども同士の交流会や教職員間の協議の場などをもつことで、連携を図った。また、子どもの育ちや学びを小学校教育へ円滑につなぐことができるように就学前施設において教職員の研修会を持った。</li> <li>▲子どもたちが、幼児教育の学びを小学校教育で生かしていくことができるように、教職員間で教育方法の相互理解を強化し、見通しをもつ連続性・一貫性を捉える接続カリキュラムの実施に取り組む。</li> </ul>	—
重点	幼稚園一時預かり事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●幼稚園で一時預かり保育を実施することにより、保護者の子育てを支援する。幼稚園の7園で一時預かり保育を実施する。</li> <li>◆幼稚園7園での一時預かりの実施を行った。</li> <li>▲今後も、継続して実施に取り組む。</li> </ul>	44

重点	家庭や地域との連携事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●親子活動や参観日の活動を充実し、保護者の幼児教育への理解を深め、家庭の連続性を図る。また、積極的に地域の方々に園内に招いたり、園外保育をすることにより、地域の方々との交流を増やし、地域との連携を図る。</li> <li>◆コロナ禍で、予定をしていた参観日や地域の方との交流等を中止せざるを得ない状況が多かったが、各園所において人数制限するなど試行錯誤しながら工夫して取り組んだ。</li> <li>▲新型コロナウイルス感染症拡大状況をみながら、活動や内容の工夫を継続し、リスクとのバランスをみながら保護者への幼児教育の理解を深める場を提供したり、地域との交流を図る。</li> </ul>	—
----	-------------	--	---

## 評価

<p>こ保幼小連携の充実や各接続カリキュラム実施に向けて研鑽を深めた。また、幼保一体化については、「笠岡市就学前教育・保育施設再編整備計画」に基づき、令和2年度の青空認定こども園の開園に続き、ひまわり認定こども園の令和4年度開園に向けた準備を庁内関係課で連携して取り組むことができた。</p>	B
--	---

## 課題と方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>●こ保幼小連携では、交流など行事の実施にとどまっている校園所もある。子どもの発達や学びの連続性を確保できるように接続カリキュラムの見直し等を各ブロックで進めていけるよう連携・接続の強化に努める。</li> <li>●「笠岡市就学前教育・保育施設再編整備計画」については、計画に基づき着実に進めていくが、今後の出生数や私立施設の状態等の動向を踏まえながら庁内関係課で連携して調整しながら取り組む。</li> </ul>
---

## 基本施策2 (重点) 共生の心の育成

(学校教育課)

### 基本施策2 - (1) 豊かな人間性を育む教育の充実

#### 目標

価値観の多様化とともに、社会全体のモラルの低下が見られ、社会性や規範意識、道徳性の低下などが指摘される現状を踏まえ、子どもたちに基本的な生活習慣や規範意識を身に付けさせ、子どもの豊かな人間性や社会性を育む「心の教育」の充実を図ります。特に、人、社会、自然などとかかわる体験活動の充実や家庭や地域連携を通して、道徳教育の充実に向けた取組を推進します。また、いじめ、不登校、問題行動の未然防止、早期発見、早期解決に取り組み、子どもたちの好ましい人間関係づくりを推進します。

#### 施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和3年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
重点	豊かな心を育む事業事業	<p>●学校や幼稚園の創意工夫により総合的な学習時間やクラブ活動、学校行事等を円滑に実施するため、講師を迎えて体験学習を取り入れるなど、特色のある教育活動に取り組む。</p> <p>◆地域の人材活用を進め、連携による社会参加活動や交流に取り組んだ。</p> <p>体験活動を取り入れながら、幼児児童生徒の情操性を育み、心豊かな人格形成を図ることに寄与できた。</p> <p>▲幼稚園及び小、中学校が創意工夫を生かして、多様で広範囲な体験活動を取り入れた特色ある教育活動を円滑に実施する。</p>	2,106
重点	学校(園)の安全管理体制充実事業	<p>●危機管理マニュアルの整備、見直しを行うことで、児童生徒等の安全確保に努める。また、不審者対応避難訓練の実施や、警察と連携した防犯教室を実施する。</p> <p>◆各校において避難確保計画や危機管理マニュアルの見直しを行った。また、避難訓練の見直しと保護者への受け渡し訓練を実施した。</p> <p>▲笠岡市危機管理部と連携を図りながら火災や地震、津波等の緊急事態発生時に全教職員及びすべての子どもたちが適切に対応できるよう避難訓練を充実させ、安全で安心して生活できる実効性のある危機管理体制づくりを推進する。</p>	—

基本	いきいきチャレンジ たいけん実施事業	<p>●中学生が地域の事業所において、職場の方々とのふれ合いや活動をとおして、社会人としての責任や苦勞、仕事の大切さやルール等について学び、主体的に自らの生き方や進路を選択していこうとする意欲や態度を育成する。</p> <p>◆令和3年度は中止となり、代替行事として、学校ごとに社会人の講話を聴く会や、職場訪問をしてインタビューを行うなどした。各学校で、コロナ禍でもオンラインを活用したりと、工夫をしたキャリア教育を行った。</p> <p>▲キャリア教育において、非常に意義のある体験活動を、地域の協力を得ながら、継続していく。</p>	12																
基本	笠岡市教育活動支援事業	<p>●支援員を配置することにより、支援を必要とする幼児、児童、生徒に適切な学習環境を提供するとともに、教職員が一体となった支援を行うことで教育活動の充実を図る。</p> <p>◆小学校11校、中学校5校、幼稚園3園へ43人配置した。</p> <p>▲子どもたちの居場所づくり、適切な学習環境づくりのために、ニーズに応じて配置していく。</p>	39,442																
基本	教育相談室事業 教育支援センター事業	<p>●相談体制を整備することにより、不登校やいじめ等の問題行動の未然防止に努める。</p> <p>◆通室数及び相談・支援件数（小北中含む）</p> <table border="1" data-bbox="568 1102 1315 1541"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通室児童 生徒数 (含仮通 室)</td> <td>10名 (小1・中 9)</td> <td>6名 (小2・中 4)</td> <td>11名 (小2・中 9)</td> </tr> <tr> <td>教育相談 室</td> <td>延べ 718件</td> <td>延べ 673件</td> <td>延べ 563件</td> </tr> <tr> <td>教育支援 センター</td> <td>延べ 261件</td> <td>延べ 288件</td> <td>延べ 507件</td> </tr> </tbody> </table> <p>▲小中学校とより一層の連携を図り、学校復帰に向けての組織的な対応を継続していく。</p>		令和元年度	令和2年度	令和3年度	通室児童 生徒数 (含仮通 室)	10名 (小1・中 9)	6名 (小2・中 4)	11名 (小2・中 9)	教育相談 室	延べ 718件	延べ 673件	延べ 563件	教育支援 センター	延べ 261件	延べ 288件	延べ 507件	14,780
	令和元年度	令和2年度	令和3年度																
通室児童 生徒数 (含仮通 室)	10名 (小1・中 9)	6名 (小2・中 4)	11名 (小2・中 9)																
教育相談 室	延べ 718件	延べ 673件	延べ 563件																
教育支援 センター	延べ 261件	延べ 288件	延べ 507件																
基本	スクールカウンセラー、 スクールソーシャルワーカーの配置事業	<p>●市内全小・中学校にスクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒や保護者からの相談に対応したり、家庭環境等の問題に対応したりする。</p> <p>◆スクールカウンセラー 10名配置 スクールソーシャルワーカー 3名配置</p> <p>▲市内全小・中学校にスクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒や保護者からの相談に対応する。</p>	5,494																

基本	人権教育自立促進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●人権学習を通して正しい知識と理解をもち、様々な人権問題に真摯に向き合える人格の形成を図る。また、教科学習を通して、基礎学力を習得し、自らの力で進路を切り開いていく力を育てる。</li> <li>◆笠岡小 28 回、吉田小 9 回、笠岡西中 23 回、新吉中 9 回、習字教室 27 回</li> <li>▲学校・地域が連携し、こどもたちの健やかな成長を支援していく。</li> </ul>	384
----	------------	--	-----

### 評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>●コロナ禍でできることを考えながら、キャリア教育や地域学を取り組む中で、地域の方に教育活動に参加していただく場面もあった。とても協力的で、学校のねらいをよく理解して、学校の教育活動に参加していただき、教育効果が高まった。</li> <li>●個別の児童生徒に寄り添いながら支援してくれる支援員の配置により、落ち着いた学習環境が整った。学期途中の支援員の配置を行い、教育現場の多様な課題に対応することができた。</li> <li>●不登校傾向の児童生徒が家庭、学校以外の居場所づくりとして、学校からも積極的に家庭に働きかけたことで、総合教育相談支援センターの利用数が増えている。SCやSSWとの連携も進み、学校教育課との定期的な協議を行うことで、各学校での児童・生徒の実態を相互に把握し、それぞれの立場での支援が充実した。</li> </ul>	B
--	---

### 課題と方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>●機会は減少したが、感染症対策をとりながら地域に出向いたり、地域等の外部講師を活用したりして、体験活動を行った。実体験が難しい場合も、ICTを活用するなどできる方法を模索して、子どもたちの学びの充実を図る。</li> <li>●ネットモラルの低下によるいじめ等、問題行動が多様化している。心の教育の充実は、急務であると考えている。</li> </ul>
---

## 基本施策 2 - (2) 健康教育の充実と食育の推進

### 目標

子どもの心身の健康を保持、増進していくために、「早寝・早起き・あいさつ・朝ごはん」の生活習慣の定着を図るとともに、健康を大切にしたい意欲や態度を育て、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく実践力の育成に努めます。

学校給食では、安全・安心を最優先に衛生管理の徹底に努め、栄養教諭と連携して食に関する指導の充実を図り、望ましい食習慣の確立に取り組みます。

### 施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和3年度の主な実績／■今後の方向性	決算額 (千円)
重点	給食内容の充実、啓発事業	<p>●提供する給食を生きた教材として活用し、基本となる栄養バランスや食習慣の確立を行い、「食」の大切さを啓発する。</p> <p>◆提供する給食のテーマ、ねらい、メッセージやレシピを配付資料として提供し、また学校給食週間に合わせ、絵手紙を募集し表彰するなど「給食」への関心を深めた。</p> <p>・残食率 13.1% (R2年度 11.7%)</p> <p>▲コロナ禍で行えなかった学校訪問、施設見学等を行うなど広く「食」の情報発信を行い、給食内容の充実に努めるとともに食育の推進・啓発を図る。</p>	—
重点	地産地消の積極的な推進事業	<p>●地元産の食材を「生きた教材」として積極的に給食提供することで、郷土愛をはぐくみ、環境問題等を考え、「食」への関心を深める子どもを育成する。</p> <p>◆コロナ禍のため、地元食材に係る配付資料の作成を積極的に行い、地産地消への関心を高めた。</p> <p>・地場産物活用品目割合 37.6% (R2年度 38.3%)</p> <p>※新規で採用した地場産物 「笠岡産焼き海苔」</p> <p>▲学校・家庭・地域の食の循環について考え、協力する取組を行い、積極的な地産地消の推進を行う。</p>	—

### 評価

<p>コロナ禍による直前での学校給食の中止、感染による欠席者の急増等があり、学校訪問による食育指導方法の変更等余儀なくされ、当初計画していた事業内容を行うことが難しい状況であったが、リモート指導や提供する配布資料の充実を図り、給食の提供方法を工夫するなどして「食」への関心を深めることができた。</p>	B
---	---

### 課題と方向性

<p>長引くコロナ禍で従来の食生活や食を取り巻く環境が変化している状況であり、学校給食についても従来の食育指導だけでなく、子どもたちが「食」に対してSDGsを考える給食の提供を行うと共に、学校・家庭・地域で取り組める食育の推進を図る。</p>
---



## 基本施策 2 - (3) 学校体育, スポーツ活動の充実

### 目標

子どもたちの生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育て、体力の向上を図るとともに、自他の生命の尊重を基本理念として健康で安全な生活を送ることができる能力、態度、習慣を育てます。1週間あたりの総運動時間が短いこと、運動習慣の二極化の傾向があることなどから、幼児期からの多様な運動の経験、「わかる」「できる」楽しさがある授業の実践、体育的行事や運動部活動を通じた家庭、地域との連携等の充実を図り、運動に親しむ資質や能力を育てます。

### 施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和3年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
重点	全国体力、運動能力、運動習慣等調査実施と課題の把握及び改善事業	<p>●子どもの体力や運動時間の状況を把握、分析することにより、各校における指導の成果と課題を把握し、その改善を図り、体力の向上と運動習慣の形成を図る。</p> <p>◆全国平均との比較では、中学校では男女とも持久力と筋持久力が低く、小学校では男女ともにスピードが低かったが、その他の体力では概ね上回っている。</p> <p>▲こどもたちが体育の授業が楽しいと思える授業改善を図り、運動習慣の向上に努める。</p>	—
基本	中学校総合体育大会、新人大会	<p>●中学校総合体育大会や新人大会に参加することで、運動への意識を高める。</p> <p>◆コロナ禍で各専門部が開催方法を工夫し、可能な限りの感染症対策を講じて、大会を開催することができた。制限された活動の成果を発揮する場があり、こどもたちの活動意欲の向上につながった。</p> <p>▲コロナ禍での大会運営を十分検討し、こどもたちの体力に無理のない運営方法を検討し、活躍の場を確保することに努める。</p>	—

### 評価

感染症対策により制限された教育活動でも、各学校において工夫した取組を行うことで、体を動かす時間等を確保することが出来た。しかし総運動時間が短いことや運動習慣の二極化は解消できていない。	B
--	---

### 課題と方向性

基本的な生活習慣の確立について、学校・家庭・地域が連携しながら具体的な取組を検討する必要がある。小中一貫教育の推進により、学校運営協議会で9年間を見通した取組を充実させていくこと



で、課題解決を図る。

### 基本施策3 (重点) 郷土愛の育成

(学校教育課)

#### 基本施策3 - (1) 教育内容・組織の充実

##### 目 標

学校（園）においては、学校評議員会や学校運営協議会等を通して、地域住民や保護者の意見や助言を学校運営に生かすと共に、地域人材バンクや地域学校協働本部事業の活用を図るなど、地域ぐるみで子どもの教育を推進する体制づくりに取り組みます。そして、子どもにとって望ましい教育環境を整え、より一層教育効果を高めていくために、笠岡市立小、中学校の学校規模適正化計画をもとに、学校規模適正化を推進します。

##### 施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和3年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
重点	コミュニティ・スクール事業	<p>●校長の学校運営に関する権限と責任の下、地域住民及び保護者等の学校運営への参画等を進めることにより、学校と家庭、地域住民等の相互の信頼関係を基に教育力を高め、子どもたちの豊かな学びと育ちを実現する。</p> <p>◆小中一貫教育の導入にあたり、これまでの学校単位での設置に加え、中学校ブロックでの再編・設置を行い保護者及び地域住民等の学校運営への参画や支援の促進を図った。 中学校ブロック単位 6 協議会、学校単位 1 協議会</p> <p>▲中学校ブロックの家庭、地域、学校で子どもたちの成長を支える基盤となるよう継続して推進する。</p>	1,003
基本	CMSによる情報発信事業	<p>●インターネットを利用し、学校を紹介するとともに、お知らせや教育方針等の情報を積極的に発信することにより、地域に開かれた学校づくりを図る。</p> <p>◆保護者や地域社会などに、学校の教育活動について、必要な情報を適切な時期に発信できた。</p> <p>▲CMSによる学校ホームページを活用し、地域に開かれた学校づくりを継続して推進する。</p>	317

## 評価

ブロック単位での学校運営協議会となったことで、9年間の子どもの成長を、学校、家庭、地域で支える基盤づくりの意識が高まった。ブロック全体の課題や取り組みについて紹介したり、課題を熟議したりすることができ、学区一丸となって子どもたちの教育環境について話し合うことができた。

B

## 課題と方向性

学校運営協議会として、学校運営に参画しているという意識が浸透してきている。今後も、研修会や熟議の時間を充実することで、委員が主体的に学校運営に参画しているという意識を高めていきたい。今後も、学校、家庭、地域で子どもを育てるという姿勢で学校運営協議会が機能していくと、義務教育9年間を支える新しい学校づくりが推進すると考えている。

## 基本施策4（重点）小中一貫教育及び学校規模適正化の実施

（学校教育課）

### 基本施策4－（1）新学習指導要領実施のための学習環境の充実

#### 目標

児童生徒の適正な規模を確保し、社会性の育成をはじめとする好ましい教育環境と学校運営体制を図り、小中一貫教育の効果をより高めるため現行の学校規模適正化計画を令和元年度に見直しました。これをもとに令和2年度から学校規模適正化計画を実施し、令和5年度までに計画の実現を図るよう進めていきます。

#### 施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和3年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
重点	笠岡市小中一貫教育推進事業	<p>●よりよい教育環境を構築するため、義務教育9年間を見通した教育課程を編制し、系統的な教育を実施する。</p> <p>◆「笠岡市の小中一貫教育」のリーフレットを作成したり、一体型小中一貫教育校の設置についての説明会を開催したりして、広報活動を行った。小中の教職員が各中学校ブロックのめざす子ども像の実現に向け、各ブロックで合同研修会や乗り入れ授業を行い、系統的な教育活動に取り組んだ。</p> <p>▲各ブロックの推進体制、年間計画、取組内容について検証、見直しを行い、さらに教育活動の充実を図る。</p>	3,737
重点	小中一貫教育及び学校規模適正化計画の	●各学校において、知識や考える力などを身に付けるとともに、集団の中でよりよい人間関係を築くことができるよう	—

	実施	<p>な望ましい学校規模にすることで、自立性、社会性、協調性を培う。</p> <p>◆計画では、令和4年度統合であった今井小学校と笠岡小学校の統合が、令和5年度に決定した。</p> <p>▲子どもたちが学校生活の中で、多様な個性と出会い、自己形成に必要な集団活動が実現できるよう計画を推進する。</p>	
基本	小中一貫教育コーディネーターの配置	<p>●小中一貫教育を推進するにあたり、課題の把握、情報の共有、合同研修会や乗り入れ授業等の日程調整等を行い、小中の円滑な接続を図る。</p> <p>◆各ブロックの学校運営協議会の企画、地域学年間計画の見直しや実施、乗り入れ授業等に取り組んだ。コーディネーターがブロック内の学校を兼務することで、各校での研修や情報共有が充実した。</p> <p>▲令和5年度の本格実施に向け、コーディネーターが各ブロックの調整役となり、計画を推進する。</p>	13, 211

## 評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>●義務教育9年間で子どもたちの成長を支えるという意識改革が教職員の中で進み、取り組みが充実した。特に地域学では、地域の良さを発信したり、地域の課題を解決しようと地域に実際に行き活動したりして、子どもたちが地域から学ぶ機会が増えた。</li> <li>●多くの児童生徒が一堂に会する活動は減ったが、リモートでの授業や交流活動を行い、他の学校や学年と共同学習に取り組むことができた。</li> <li>●学校規模適正化計画では、今井小学校と笠岡小学校の交流活動が減り、保護者の不安が募り、令和4年度の統合計画が実現できなかった。保護者への説明不足等反省すべきことが多い。</li> </ul>	B
---	---

## 課題と方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>●分離型の小中一貫校であるため、小中の教員の打合せ時間や乗り入れ授業のための移動時間がかかり、教員の負担増になった。今後もICTやカリキュラムを有効活用して打合せ時間を短縮したり、乗り入れの補充教員を配置したりすることで、教職員の負担が減るよう努める。</li> <li>●笠岡市の小中一貫教育について、パンフレット等で周知を図ったが、今後も引き続き、子どもたちの活躍や成長を教育委員会からも発信して、地域、家庭、学校の協力体制の強化に繋げたい。</li> <li>●小中一貫教育アンケートから、その教育効果を感じている教職員が増えている。今後も、子どもたちの変容や成長を見取り、検証、見直しに取り組み、小中一貫教育による子どもたちの教育活動の充実を図る。</li> <li>●児童生徒数の変動により、今後の適正化計画の修正も必要になる。長期的な視点をもって、子どもたちの教育環境が適正な規模となるよう計画を進める。</li> </ul>
--

## 基本施策5 学校施設等の整備

(教育総務課)

### 目 標

校舎等施設の営繕等を適切に実施するとともに、安全対策の充実と教育環境の向上に努めます。

### 施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和3年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
基本	学校施設の大規模改修事業	<p>●児童生徒が安心・安全に生活できるよう、経年による建物の損耗、機能低下に対する復旧措置を行うとともに、現在の教育現場にあった改装等を行う。</p> <p>◆小学校：大井小学校屋内運動場大規模改造工事 中学校：笠岡東中学校屋内運動場大規模改造工事実施設計業務</p> <p>▲年次的に大規模改修工事を実施し、学校施設の維持管理を図る。</p>	70,763
基本	トイレの洋式化等整備事業	<p>●児童生徒が安心して利用できるよう、年次的にトイレの洋式化工事を実施する。</p> <p>◆小学校5校、中学校4校で工事を実施した。 小学校：笠岡小学校、中央小学校、金浦小学校、北川小学校、神島外小学校 中学校：笠岡東中学校、笠岡西中学校、大島中学校、神島外中学校</p> <p>【幼・小・中のトイレ洋式化率】 令和3年度末 52.3% (令和2年度末 50.9%)</p> <p>▲計画的にトイレの洋式化工事を行い、教育環境の改善を図る。</p>	8,492
基本	学校園の各種営繕事業	<p>●学校園施設の営繕・整備について、危険度・緊急度を考慮しながら実施し、幼児・児童・生徒が安心して学校園生活を送ることができる教育環境を提供する。</p> <p>◆主な営繕 神内小学校屋内運動場外壁改修工事、北川小学校体育館南面シーリング工事、金浦中学校教室床修繕工事、金浦中学校放送卓更新工事、富岡幼稚園エアコン設置工事</p> <p>▲緊急度などを勘案しながら学習環境の改善を図る。</p>	28,510

## 評価

- 学校施設の大規模改修については、計画通り実施することができた。
- トイレの洋式化工事については、支出額が予定より安く抑えられたため、予定を前倒しして他の学校にも設置することができた。
- 学校園の各種営繕については、限られた予算の中で危険度・緊急度から判断し、優先すべき箇所から順に施設整備を実施した。
- 天井材や設備機器などの非構造部材の耐震化対策については、緊急性のある箇所を実施した。

B

## 課題と方向性

- 学校施設の大規模改修については、予算的な制約があるが、年次的・計画的に改修していく。
- トイレの洋式化等整備事業については、次年度以降も計画的に事業の進捗を図る。
- 学校園の各種営繕については、危険度・緊急度等を勘案し、児童・生徒が安全で安心した学校（園）生活が送れるよう、引き続き教育環境の向上に努める。
- 非構造部材の耐震化対策については、各学校の現状把握に努め、落下防止等の年次的な対策を図る。

## 《市民一人ひとりの豊かな学びにより地域力を高める生涯学習の推進》

### 基本施策6（重点）いつでも、どこでも、学びたいときに学ぶことができる機会の提供

（生涯学習課）

#### 目 標

市民に多様な学習機会を提供するとともに、公民館や図書館等の社会教育施設の利用促進を図るため、各施設の環境整備・サービスの充実を図ります。

#### 施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和3年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
重点	公民館等講座	<p>●講座を通じて、地域住民が気軽に集い、学び、多くの人と交流することによって、心豊かで潤いのある人生を送る機会を提供する。</p> <p>◆・中央公民館            主催講座： 4講座 受講者： 555人            (R2 4講座 受講者： 1,142人)            自主講座： 46講座 受講者： 6,450人            (R2 50講座 受講者： 10,406人)</p> <p>・地区公民館（20館）            講座： 341講座 受講者： 49,133人            (R2 333講座 受講者： 55,795人)</p> <p>▲コロナ禍において、これまでの対面学習だけでなく、新しい技術を活用したオンライン学習に取り組み、他の社会教育施設との連携を図る。</p>	1,010
重点	図書館事業	<p>●誰もが気軽に利用できる図書館を目指すことにより、来館者数の増加につなげ、市民の読書意欲を高める。</p> <p>◆・図書館運営事業（カウンター業務、巡回文庫業務、ブックスタート事業等）</p> <p>・行事の開催（講演会「村上海賊と笠岡」、ワークショップ「縄文土器をつくってみよう！」等）</p> <p>・施設改修工事（本館2階トイレ改修工事、屋上防水工事）</p> <p>・図書館（本館）への来館者数 66,414人            (R2 62,993人)</p> <p>・図書館（本館）での貸出冊数 215,225冊            (R2 211,890人)</p> <p>▲幅広いニーズに対応した資料・情報を提供するととも</p>	111,758

		に、利用者から信頼される図書館となるように努める。	
基本	まちづくり出前講座	<p>●市民の自主的な生涯学習活動を支援する。</p> <p>◆講座メニュー 76 講座 (R2 80 講座)  実施件数 177 件 (R2 185 件)  受講者数 6,562 人 (R2 5,651 件)</p> <p>▲受講者総数に回復の兆しがあることから、メニュー数に比例した講座実施数の増加も期待でき、今後、いかに各担当課に講座メニュー数の増加を促せるかが課題となってくる。出前講座受講者へのアンケート等により、ニーズをくみ取り、新メニューを開発する。</p>	—
基本	たくましい笠岡っ子事業	<p>●子ども達が自然体験や社会体験等を通じて自主的に活動していく中で、たくましさを身につける。また、地域の職業体験や世代間交流を通じて、地域への愛着を深める。</p> <p>◆開催回数 3 回 (R2 3 回)  参加者数 47 人 (R2 64 人)</p> <p>▲高校生ボランティア (VYS) との連携も図りながら、より地域への愛着が深まるようなメニューを企画する。</p>	57
基本	生涯学習カレンダー等の作成・配布	<p>●情報誌を発行し、子どもの体験活動機会や家庭教育の支援に関する情報を提供し、児童の参加を促すとともに保護者の参加意欲を促進する。</p> <p>◆生涯学習カレンダー 年 2 回 (240 部/回)  (R2 年 2 回 245 部/回)  ぼっけえかさおかわんぱく宝箱 年 4 回 (4,700 部/回)  (R2 年 4 回 4,900 部/回)</p> <p>▲児童・生徒がより興味を持つようクイズ等の企画内容の充実を図る。</p>	123
基本	公民館活動助成事業	<p>●市民の主体的な参加のもとに行う各公民館独自の活動事業を積極的に推進することにより、地域の課題解決を図り、心豊かでたくましい人間尊重のまちづくりを推進する。</p> <p>◆20 地区公民館 100 事業 (R2 95 事業)</p> <p>▲地域ぐるみの社会参加活動を積極的に推進することで、住民同士のつながりを強め、地域コミュニティの維持と持続的な発展を推進する。</p>	5,762



## 評価

- 公民館は、コロナ禍ではあるが、創意工夫を凝らし規模を縮小しながらも地域住民のふれあいを大切に、地域文化の向上や三世代交流等を行うことができた。また陶山公民館においては、地域外の方にも地域の魅力を知ってもらおうと YouTube で動画配信を行った。
- 図書館は、新型コロナウイルス感染症拡大のため、利用制限を行いながら開館した。来館者が閲覧室に入れない時は、司書がテーマごとに選んだ図書をセットにした「おまかせセット」の貸出しを行い、幅広い世代の人に読書の機会を提供した。また、おはなし会や講演会、スタンプラリーの開催等により、図書館に興味を持ってもらうことができた。施設改修工事としては、トイレ改修工事と屋上防水工事を行い、来館者が図書館を快適に利用できるようになった。
- まちづくり出前講座は、受講者と講師が参集する形式だけでなく、オンライン開催など、開催方法を工夫することにより、実施回数は前年度より減少したものの、参加人数は増加した。分野別でみると「防災」が半数を占めており、市民の防災意識の向上に寄与している。コロナ禍においても、市民が前向きに生涯学習活動に取り組める機会を提供できている。

B

## 課題と方向性

- 公民館は、コロナ禍において、これまでの対面学習だけでなく、オンライン学習に取り組むために、Wi-Fi 環境を整備し、他の社会教育施設と連携する。また、南海トラフ巨大地震等、大災害発生が危惧されている中、地域の防災拠点としての役割を担うことも視野に入れつつ、学習の成果を地域課題の解決に向けた活動につなげ、地域コミュニティの維持と持続的な発展を推進する。
- 図書館は、コロナ禍により多くの事業や行事が中止や縮小となっていたが、事業内容等の見直しを行いながらを実施したことにより、徐々にではあるが、来館者数等が回復しつつある。引き続き、来館者の安全面に配慮しながら、気軽に楽しく利用できる図書館となるように努める。一方、図書館は市内に1館しかなく、全域へのサービスの提供が難しい状況にある。巡回文庫業務や配本業務の充実及び地域や学校との連携を図りながら、読書の場を提供していく方法を検討する。
- 生涯学習の推進については、従来から行ってきた参集形式での出前講座や体験活動を継続した上で、全世代に普及しつつあるインターネット環境を踏まえて、オンライン配信など、文字どおり「いつでも、どこでも、学びたいときに学ぶことができる機会」の提供方法を検討する。



## 基本施策7 学習成果を活かしたまちづくり

(生涯学習課)

### 目標

地域課題の解決や地域の特徴を活かした地域づくりの場としての公民館やまちづくり協議会の取組の状況や活動の成果を広く知らせる等、市民や団体が活動成果を発信する機会をつくり、市民の主体的な学習や活動意欲を引き出します。

### 施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和3年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
基本	生涯学習フェスティバル	<p>●生涯学習に取り組む団体の活動発表の場を提供することにより、生涯学習への意欲を高めるとともに学習活動への参加を促す。</p> <p>◆通常開催が困難であったため、笠岡放送(株)の協力のもと、舞台発表を収録し、展示で参加予定だった団体の制作した活動紹介等の動画または写真とともに、テレビ放映を行い、その放送内容を収録したDVDを参加団体及び各公民館に配布した。</p> <p>参加団体数 26団体 (R2 20団体) 参加者数 約280人 (R2 170人)</p> <p>▲人数制限や飛沫防止対策等の感染防止対策を徹底した上で、令和元年度以来3年ぶりの参集形式の開催を検討する。</p>	140

### 評価

コロナの影響により、各事業とも実施に向け協議を重ねたが、県内・市内の感染状況や万全の感染防止対策を講じることができないと判断したものについては中止した。

しかしながら、生涯学習フェスティバルは、開催形式を変更し、コロナ感染防止対策を講じながら、動画製作・テレビ放映を試み、市民の一年間の活動の成果を発表する場を確保できた。

**B**

### 課題と方向性

生涯学習フェスティバルは、令和元年度の実績で91団体、約4,000人の規模となる行事であるが、施設内に多数の人が集い密となることや参加者のうち高齢者の参加割合が高いことから新型コロナウイルス感染症の感染リスクが高く、コロナ禍では例年どおりの開催が困難である。しかし、生涯学習活動に取り組む人達にとっては、日頃の学習・活動成果を発揮する場は必要不可欠である。

市民の安全を優先的に考えながら、生涯学習フェスティバルのほか、青少年スピーチコンテストや

「明るい家庭づくり」作文等、各種事業を開催し、市民に生涯学習活動の成果を発揮する場を提供していく。

## 基本施策8 (重点) 家庭・地域・学校と一体となった地域ぐるみの教育支援

(生涯学習課)

### 目 標

家庭・地域・学校における人と人とのつながりの輪を広げる交流を盛んにするとともに、地域文化を高め、地域に誇りを持つことのできるように地域全体で子どもの健やかな成長を見守りながら、地域ぐるみの教育支援を行います。

### 施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和3年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
重点	地域学校協働本部事業	<p>●学校の支援活動を通じて、保護者、地域住民、学校関係者等の連携を深め、地域ぐるみで子どもを育てる体制を構築する。地域住民等の参画による学校教育を支援する組織を立ち上げ、子どもたちの学習支援、学校の環境整備や行事の支援を行うとともに、活動を通じて地域のつながりを強化する。</p> <p>◆市内14地区の小中学校で、地域住民や保護者がボランティアとして学校教育を支援した。(R2 12地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校 15校 (R2 14校)</li> <li>・中学校 6校 (R2 5校)</li> <li>・年間実施日数 延べ2,994日 (R2 2,340日)</li> <li>・年間ボランティア参加者数 延べ27,741人 (R2 32,312人)</li> </ul> <p>▲学校運営協議会との一体的な推進を図る。</p>	2,042
重点	放課後子ども教室推進事業	<p>●児童生徒が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な学習や体験、交流活動を行えるように地域ぐるみで子どもを育てる体制を整備する。地域の多様な経験や技能を持つ人材等の協力を得て、放課後等を過ごす児童生徒に体験学習、学習支援、伝統文化体験等を提供する。</p> <p>◆市内6か所において、放課後や週末を中心に子ども教室を開設した。(R2 10地区)</p>	866

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間実施日数 延べ 206 日 (R2 延べ 492 日)</li> <li>・年間参加者数 延べ 1,628 人 (R2 延べ 4,317 人)</li> </ul> <p>▲学校運営協議会との一体的な推進を図る。</p>	
重点	土曜日教育支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●児童生徒が土曜日や休日等を安全・安心に過ごし、多様な学習や体験、交流活動を行えるように地域ぐるみで子どもを育てる体制を整備する。地域の多様な経験や技能を持つ人材等の協力を得て、土曜日や休日等を過ごす児童生徒に体験学習、学習支援、伝統文化体験等を提供する。</li> <li>◆市内 10 か所で土曜日等における授業や課外授業支援、学習等を行った。(R2 9 地区) <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間実施日数 延べ 84 日 (R2 延べ 91 日)</li> <li>・年間参加者数 延べ 1,240 人 (R2 延べ 912 人)</li> </ul> </li> </ul> <p>▲学校運営協議会との一体的な推進を図る。</p>	460
重点	青少年宿泊体験事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●北木島特有の地域資源を活用した学習及び交流を提供することで、青少年の健全育成を推進するとともに地域の活性化に寄与する。</li> <li>◆北木島宿泊研修所の管理運営を指定管理によって運営し、島ならではの地域資源を活用した体験学習を提供した。研修室 2 室に空調設備を新設した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・延べ利用者数 403 人 (R2 289 人)</li> </ul> </li> </ul> <p>▲アフターコロナを見据え、受入体制や提供プログラムの構築や見直しなどを行い、充実した学習機会を提供するとともに、施設の環境整備を進めていく。</p>	9,406
基本	青少年健全育成事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地区組織が補導活動、環境浄化活動、健全育成活動、啓発広報活動を実施することで、青少年の健全育成を推進する。</li> <li>◆交付団体数 11 団体 (R2 11 団体)</li> </ul> <p>▲学校との連携をより強化し、青少年を見守る体制を整備していく。</p>	840

## 評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域学校協働活動は、学校の休校等により、活動機会が減少したものの多くの市民に参画してもらい、学校教育の支援及び子ども達への社会体験の提供につなげることができ、一定の成果はあった。</li> <li>●青少年宿泊体験事業は、独自のガイドラインを作成し感染防止対策を講じながら運営に努め、宿泊に限らず日帰りの要請にも対応した。また、国補助のコロナ対策事業として、3密回避のための空調設備を新設した。</li> </ul>	B
--	---

## 課題と方向性

放課後子ども教室推進事業や土曜日教育支援事業は、文部科学省通知により補助金の対象となる経費が制限されたことから、実施団体への助言や支援を徹底し、団体の負担軽減を図りたい。また、これらの地域学校協働活動をより家庭・地域・学校の連携のもと一層活性化するためには、学校運営協議会との一体的な推進を図る必要がある。学校協働活動に関わる地域住民、保護者、推進員、コーディネーター等が意見交換や情報共有を図れる場を設ける。

家庭・地域・学校が連携を図り、保護者が安心して子育てを行うことができるよう、社会全体で応援する取組を推進する。

## 基本施策 9 社会教育に取り組む市民や団体との協働と支援

(生涯学習課)

### 目標

市民団体等の育成・支援を図り生涯学習の輪を広げることにより、活力ある地域社会を形成します。

### 施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和3年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
基本	諸学級事業	<p>●同世代あるいは世代の垣根を越えた仲間たちが、地域社会や家庭に根差した、継続的な生涯学習活動を行う機会を提供する。</p> <p>◆生涯学習活動を行う各諸学級に対して補助金を交付し、活動の支援を行った。</p> <p>・学級数 幼児2 女性7 成人8 高齢者1 チャレンジ2 (R2 幼児2 女性7 成人6 高齢者1 チャレンジ3)</p> <p>▲事業主催者に対して補助制度の存在を広く周知して、学級数を増加させる。</p>	571
基本	子どもフェスティバル	<p>●気軽に楽しめるレクリエーションなどを通して、親子のふれあいや参加者相互の親睦を図る。また、市民がボランティアスタッフとして参画することでボランティア精神の醸成を図る。</p> <p>◆新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止。</p> <p>▲参加規模を大幅に見直しして、小規模イベントを数回に分けて実施するなど、感染リスクの低い新たな形式で開催する。</p>	—

## 評価

諸学級事業は、新型コロナウイルス感染症の影響で従来の活動が困難な中でも、学級長を中心に工夫を凝らして考察し、実施された。年代を超えた学級活動の中で、前向きな課題を設定し、研究・実線・発表等の活動を通して学んでいく姿は、若きに学び老いに学ぶ大切な場である。また、家庭や地域での活力となり、子どもたちの学びの手本になると考える。

**B**

## 課題と方向性

近年、笠岡市子ども会育成連絡協議会や笠岡市婦人協議会において、会員数・会員団体数が減少しており、会員や担い手の確保や育成が急務である。

## 《幅広い世代が楽しめる文化・芸術の振興と担い手の育成》

### 基本施策 10 文化財の保護・活用

(生涯学習課)

#### 目 標

文化財を総合的に保護・活用するための基本構想を策定し、保護と活用の一体的な取組を進めていきます。また、文化財と関わることで、地域への理解や愛着を深め、交流や連携を推進する契機となるような取組を実施します。

#### 施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和3年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
基本	文化財の保護・活用事業	<p>●文化財の調査を行い、重要なものは指定・保護して後世に伝えるとともに、公開活用を促進し、笠岡市の文化及び魅力と活力の向上を図る。</p> <p>◆【主な保護事業】 文化財調査(小田県庁門, 白石島の帆印帳と遠眼鏡ほか) 文化財管理(井笠鉄道記念館, 敬業館, 長福寺裏山古墳群, 関戸廃寺ほか) 白石踊後継者育成事業(定期練習会9回, 衣装整備) (R2 定期練習会11回)</p> <p>【主な活用事業】 郷土館企画展示「白石島の帆印帳と遠眼鏡」 会期5/21~7/25 入館者数196人 (R2企画展「笠岡諸島 高島と神武天皇東遷伝説」 会期10/3~12/6 入館者数189人) 「笠岡にもっと愛着を持ち隊」 募集期間7/20~11/30 作品数45点 (R2 134点)</p> <p>▲文化財調査を継続するとともに、その成果を保護施策に反映させる。また活用事業として地域のことを知る機会を提供し、郷土への愛着と誇りを涵養する。</p>	7,279
基本	茅原基治漫画制作事業	<p>●郷土の先人、茅原基治の功績を、市内の児童生徒に漫画で分かりやすく伝えることによって、郷土への関心を向上させ、将来の生き方を考える契機とする。また、先人の顕彰をすすめる。</p> <p>◆茅原基治漫画制作・活用検討会議を開催しながら漫画制作を行った。B6判, 101頁, 2,500部作成。小中学校, 図</p>	3,001

		<p>書館，関係機関に配布したほか，希望者に提供している。</p> <p>▲各学校で活用をする。また笠岡市立図書館において漫画のパネル展を開催し，茅原基治と漫画について周知する。</p>	
--	--	---	--

## 評価

<p>●文化財の現地調査や学術的な調査を少しずつ進めていくことで，将来の保全や活用の基礎資料を整えることができた。また，白石踊の後継者育成支援を行い，保存と継承の足がかりを提供することができた。</p> <p>●「マンガふるさとの偉人 茅原基治」を作成・配布することで，郷土の先人を広く顕彰し，子どもたちに伝えることができた。</p>	B
---	---

## 課題と方向性

<p>●笠岡市にとって重要な文化財については，引き続き保存・継承を図っていく必要がある。また，文化財の情報収集と調査を継続し，個々の文化財の歴史的な価値を明確化していくことが必要である。</p> <p>●文化財講座・企画展等の情報発信についても，その時々ニーズに応じて積極的に取り組むことが望ましい。また「笠岡にもっと愛着を持ち隊」は，小学生と保護者世代に笠岡市の歴史文化と接する機会を提供することができる事業であるため，継続していきたい。</p>
--

## 基本施策 1 1 竹喬美術館の活性化と館蔵品の充実

(生涯学習課)

## 目標

市民のニーズを踏まえた魅力的で多様な企画展の開催や環境づくりにより，市民が何度でも訪れたい場所へと変革していきます。

## 施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和3年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
重点	魅力的な展覧会の開催	<p>●市民が見る，知る，体験する場と機会を得られるようにし，文化の向上を図る。</p> <p>◆入館者総数 10,944人 (R2 11,767人)</p> <p>○特別展「絵本作家 葉祥明ー風景に託すはらかな想いー」展</p> <p>○特別陳列「日本の溪谷を描く」</p> <p>○特別陳列「瀬戸内の四季 森谷南人子の世界」</p> <p>○特別展「歴史を旅する 谷口香嶠」</p> <p>○特別陳列「アートの今・岡山 2021ー器ー」</p>	14,387



		<p>○特別陳列「日本の版画 万華鏡」</p> <p>○特別陳列「大阪の文人画ネットワーク —加野象二郎コレクションを中心に—」</p> <p>▲竹喬研究を主軸としながら、若い世代にも興味を持ってもらえるような展覧会を企画する。</p>	
基本	各種イベントの開催 及び作品展示	<p>●美術館に親しみ、絵画に興味を惹かれるような機会を作る。</p> <p>◆ 地域学と連携した美術館訪問、授業（継続） 小学生対象の「まるごと美術館探検」開催（継続） 子ども写生会開催（新規） 小野竹喬の版画展示（市内小中学校）（新規） 各展覧会におけるギャラリートーク開催（継続）</p> <p>▲多世代が美術館に足を運びたいくなるよう、切り口を変えた様々なイベントを企画する。</p>	29

## 評価

<p>令和3年度も前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大によって2度の休館を余儀なくされたが、その中であって特別展は予定どおりに開催することができた。</p> <p>展覧会は日本画を主体としながらも絵本作家、造形作家の展示にも取り組み、幅を広げることができた。</p> <p>小学校児童の美術館訪問の積極的な受け入れ、イベントの開催、小中学校への竹喬版画の展示など、若年層へのアプローチを館内外で広げた。笠岡高校の地域学 ACT の取組は高校生主体の「竹喬広め隊」の結成につながり、若年層が竹喬と美術館に親しむ機会を増やすことができた。</p>	B
---	---

## 課題と方向性

<p>企画展で実施したアンケートを見ると、展示への満足度は高いものの、入館者の年齢層が高齢者に偏っていることは依然として課題である。竹喬美術館の使命である、小野竹喬の業績の顕彰や竹喬の周辺画家の研究は大切にしながら、若い世代に魅力を感じてもらえる企画展を組み込み、バランスよく展示を充実させていく必要がある。</p> <p>また、若い世代に竹喬の偉業と財産を伝える取組も継続し、竹喬並びに美術館の認知度を上げていかなくてはならない。</p> <p>開館から40年が経過する施設の老朽化と収蔵庫の不足は大きな課題である。施設の長寿命化と収蔵スペースの確保について、中期的、長期的なビジョンのもと、手法、費用等を検討し、段階的に改修を進める。</p>
---



## 基本施策 1 2 芸術文化活動の振興・交流と担い手の育成

(生涯学習課)

### 目 標

市民参加による幅広い自主的な創作活動を促進し、若者の視点も踏まえて、優れた文化・芸術にふれあう機会を増やします。

### 施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和3年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
基本	文化振興事業	<p>●芸術・文化活動の活性化によって知性と文化意識の高揚を図り、長期的な視点で文化的風土を育む。</p> <p>◆笠岡市さつき・新緑展 中止 (R2 中止) 夏休み子ども体験教室 中止 (R2 中止) 名月観賞の夕べ 中止 (R2 中止) 笠岡市菊花展 10/30～11/7 入場者数 855 人 (R2 638 人) 笠岡市芸能祭 10/30～31 (無観客収録・TV 放送) (R2 無観客収録・TV 放映) 笠岡市文化祭 11/5～7 入場者数 1,184 人 (R2 中止) 笠岡市写真展 12/1～4 入場者数 342 人 (R2 347 人) 笠岡市児童・生徒美術展 1/15～16 入場者数 2,616 人 (R2 2,167 人) 笠岡市美術展 2/18～20 入場者数 1,364 人 (R2 1,455 人)</p> <p>▲コロナ禍であっても文化活動の火を絶やさぬよう各事業を継続するとともに、市民に多様な芸術文化に触れる場を提供する。</p>	758
基本	笠岡市木山捷平文学 選奨事業	<p>●笠岡市出身の小説家木山捷平氏の業績を顕彰することで、文芸創作活動の活発化と、文芸創作活動をする市民の増加を図る。</p> <p>◆第17回木山捷平文学選奨 【全国公募】 短編小説 応募作品数 223 編 (R2 265 編) 【市内小・中学生の部、一般の部 (高校生含む)】 随筆 応募者数 一般 14 人 (R2 11 人)</p>	2,271

		<p>詩 応募者数 一般 16 人, 小中学生 1,199 人 (R2 一般 15 人, 小中学生 1,376 人)</p> <p>短歌 応募者数 一般 10 人, 小中学生 418 人 (R2 一般 16 人, 小中学生 368 人)</p> <p>俳句 応募者数 一般 37 人, 小中学生 1,055 人 (R2 一般 42 人, 小中学生 1,134 人)</p> <p>川柳 応募者数 一般 33 人, 小中学生 171 人 (R2 一般 23 人, 小中学生 135 人)</p> <p>▲各部門の募集を継続するとともに, 応募者のさらなる増加を図る。</p>	
基本	市民会館運営事業	<p>●市民の生活, 文化及び教養の向上と福祉の増進を図る。</p> <p>◆笠岡市民会館を管理・運営するとともに, 感染症対策の強化を図るため, 非接触型体温計 (AI 顔認証検温システム) 1 機を整備した。</p> <p>▲今後, 年次的に改修工事を行い, 長寿命化を図る。</p>	35,184

## 評価

<p>●令和 2 年度に引き続きコロナ禍の中ではあったが, 感染症対策を講じながら, 市民参加による文化振興事業を実施することができた。</p> <p>●第 17 回となった笠岡市木山捷平文学選奨では, 全国公募の短編小説は 223 作品(前年-42), 他部門は 2,953 人(前年-167 人)で, 昨年の応募者数から若干減少したものの安定的に推移しており, 木山捷平と笠岡市の取り組みを全国に発信することができた。</p> <p>●市民会館は, コロナ禍で, 休館や利用制限等の期間はあったが, 利用しやすい環境を整えるとともに, 催しを通して市民相互の親睦を図り, 市民教養を高める場とすることができた。</p>	A
---	---

## 課題と方向性

<p>●芸術文化活動については, 幅広い世代の市民に参加・鑑賞できる機会を引き続き提供していくとともに, 各団体が実施している事業を支援する。</p> <p>●木山捷平文学選奨事業については, 文芸創作活動のさらなる活発化を目指し, 応募者の増加を図る。</p> <p>●市民会館については経年劣化が進んでいるため計画的に改修工事を実施し, 文化向上の拠点としての役割を果たせるよう整備を行う。</p>
---

## 基本施策 13 (重点) カブトガニの保護とカブトガニ博物館の運営

(生涯学習課)

### 目 標

カブトガニが繁殖力を取り戻すまで、カブトガニ保護の活動を継続していきます。  
また、子どものうちから干潟等の環境保全の重要性とカブトガニ保護の意義を理解してもらうための多様な取組を行うとともに、カブトガニと博物館を活かした笠岡市のPRを行い、様々な機会を利用して全国に情報発信していきます。

### 施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和3年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
重点	カブトガニ飼育環境整備事業	<p>●カブトガニの幼生の継続的な飼育環境を確保する必要があるため、老朽化したカブトガニ飼育棟を改修する。</p> <p>◆飼育棟外壁塗装改修, 飼育棟管理室改修</p> <p>▲引き続き, 自家発電設備・飼育池・飼育水槽の改修を行い, 飼育環境の向上に努める。</p>	5,762
基本	幼生の飼育・放流, 調査事業	<p>●笠岡に生息するカブトガニが人の手を借りることなく, 自然に繁殖力を取り戻すまで, 幼生を飼育し放流を行う。</p> <p>◆幼生放流数 2,365匹 (R2 1,372匹) 成体調査8匹確認 (R2 20匹) 繁殖地内での自然産卵6カ所確認 (R2 16カ所)</p> <p>▲繁殖地の現状把握に向けて, 調査エリアの拡大を行い, 新たな産卵場所や幼生の生育場所の有無を調べるなど, より詳細なデータの把握に努める。</p>	4,414
基本	監視活動, 干潟・砂浜の保護活動事業	<p>●カブトガニの生息環境を良好に保つため, 繁殖地の保護を行う。</p> <p>◆カブトガニ保護啓発運動 令和3年5月8日 75人参加 (R2 中止)</p> <p>保護監視活動 4月~11月, 2月~3月 46日実施 入浜者数 350人 (R2 67日実施 入浜者数 242人)</p> <p>▲保護啓発だけでなく, 繁殖地の保護につながる様々な啓蒙活動を展開し, カブトガニ保護に対する意識の向上を図る。</p>	3,470
基本	特別展, 特別陳列の開催	<p>●自然とカブトガニについて学ぶ機会を提供する。</p> <p>◆入館者総数 42,173人 (R2 32,523人) 特別展示「鎧につつまれたいきもの」展</p>	3,729

		<p>令和3年7月17日～10月31日 期間中入館者 17,174人          特別陳列「惣路紀通 大化石コレクション」展          令和4年2月1日～4月10日 期間中入館者 9,371人          ▲今後もより多くの方の興味を引き、集客につながる魅力的な企画展を開催する。</p>	
--	--	--	--

## 評価

<p>カブトガニ繁殖地内における自然のカブトガニの個体数確保のため、引き続き幼生を飼育し放流を行っていく。企画展では、延期となっていた特別展示を開催することができ、特別陳列では元館長から寄附された化石の展示を行うことができた。</p> <p>また、施設面の改修では、老朽化したカブトガニ飼育棟を改修し、人工飼育のための基盤強化と、恐竜模型1体の修繕や排水ポンプ場通報装置の設置等、施設の維持と来館・来園者の安全性を図ることができた。</p>	<h1>A</h1>
--	------------

## 課題と方向性

<p>カブトガニ博物館には、これまでの役割に加え、調査・研究の充実、情報発信及び観光振興への貢献等の期待が高まっており、新たな運営の工夫が必要となっている。</p> <p>新型コロナウイルスまん延防止対策を取りながら、博物館の魅力を発信し、入館者増加を図っていく。</p>
--

《いつでも、どこでも、誰でも気軽に親しめる生涯スポーツの振興》

**基本施策 1 4 生涯スポーツの推進**

(スポーツ推進課)

**基本施策 1 4 - (1) 各種スポーツ教室・大会の開催、地域スポーツ団体の支援・育成**

**目 標**

市民スポーツの向上を図るため、スポーツ協会及び各種スポーツ・レクリエーション団体等の活動を支援します。

また、幼児・児童期は心身ともにめざましく発達する時期で、生涯にわたって健康や体力を保持していくための重要な時期です。このため、幼児・児童を対象とした地域スポーツ団体の支援・育成を行うとともに、幼児を対象としたスポーツ教室の定着化を図ります。

**施策を推進する主な事業**

区分	事業名	●目的／◆令和3年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
基本	スポーツ・レクリエーション事業	<p>●スポーツ・レクリエーション大会に参加する市民を増やす。</p> <p>◆コロナ禍の影響で中止とした。</p> <p>▲ニュースポーツを多くの方に知ってもらい体験することで、市民スポーツの向上を図る。</p>	—
基本	スポーツ教室事業	<p>●生涯にわたって健康や体力を保持していくことができるよう、子どもたちにスポーツの楽しさを伝える。</p> <p>◆コロナ禍の影響で中止となった教室もいくつかあったが、その中でも、バスケットボール教室 (R3 年度 32 名, R2 年度中止)・陸上教室 (R3 年度 28 名, R2 年度中止)・軟式野球教室 (R3 年度 24 名, R2 年度 31 名)・サッカー教室 (R3 年度 10 名, R2 年度 20 名) を実施した。</p> <p>▲現在実施している教室以外にも、新たな種目のスポーツ教室の開催を検討し、子どもたちのスポーツへの関心を高める。</p>	215
基本	幼児スポーツ教室事業	<p>●プレゴールデンエイジ世代子どもたちが運動に親しめる機会を提供する。</p> <p>◆コロナ禍の影響で中止とした。</p> <p>▲幼児期からスポーツに対する関心を深め、スポーツを体験することで、体力・運動能力の向上を図る。</p>	—

## 評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>●スポーツ教室は、新型コロナウイルスの影響で、実施できない事業がいくつかあったが、感染対策を行い実施することができた事業では、たくさん子どもたちが成功体験によりスポーツの楽しさを、また失敗することでその難しさを体験してもらうことができた。</li> <li>●スポーツ・レクリエーション事業、幼児スポーツ事業については、新型コロナウイルスの感染拡大により開催することができなかった。</li> </ul>	B
---	---

## 課題と方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>●誰でも気軽にスポーツ・レクリエーションを楽しめるよう、大会等イベントの内容を見直す必要があると考える。時期や種目だけでなく告知方法なども工夫をして、市民が興味を持つような仕掛けをしていきたい。</li> <li>●スポーツ教室については、4つの教室を開催した。コロナ禍もあり、参加はやや少なかったものみなさん楽しんでいた。種目によっては、見直しも検討する必要があると思うが、子どもたちへのスポーツの実施機会提供のため、引き続き行っていきたい。</li> <li>●プレゴールデンエイジに運動を始めることが、人間の体力や運動能力に大きな影響を与え、将来的に市民の健康につながって行くものと認識している。コロナ禍で今年度実施はできなかったが、引き続き実施していきたい。</li> </ul>
---

### 基本施策14－(2) スポーツ推進委員活動の充実

#### 目標

<p>スポーツ活動の盛んな地域コミュニティを醸成するため、各地区からスポーツ推進委員を選任しています。</p> <p>地域スポーツの事業推進にかかる連絡調整や多様化するニーズに対応した指導・助言を行います。</p>
---

#### 施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和3年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
基本	地域スポーツ活動事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●誰でもスポーツが楽しめるまちづくりを目指して、住民に対するスポーツ実技の指導を推進し、スポーツ活動の盛んな地域コミュニティの醸成を図る。</li> <li>◆スポーツ推進委員を派遣し、地域のニーズに合わせた指導を行った。(派遣回数：R3年度8回延べ30名、R2年度22回延べ119名)</li> <li>▲スポーツ推進委員の中でも、研修・指導を行い、さまざまなスポーツに対応できるよう努める。</li> </ul>	179

## 評価

<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響で、地域への派遣については大幅に減少することとなり、例年どおりの活動はできなかった。スポーツ推進委員の研修についても軒並み中止となり、活動の制限が余儀なくされた。しかしながら、2か月に1回の企画会議は行い、コロナ収束後の活動や感染対策、今後の普及活動などについて十分協議することができた。</p>	B
---	---

## 課題と方向性

<p>スポーツ推進委員の高年齢化が進んでいることが大きな課題となっている。現在19名の委員（定員20名）で運営しているが、今後若年層委員の登用を検討する必要がある。また、指導面においては、長きにわたり活躍された委員の知識や指導技術を下の世代に伝えていくことが重要となってくる。ニュースポーツについても日々新たな種目が生まれる中、スポーツ推進委員の指導力が市民のスポーツ参加に関わってくるため、スポーツ推進委員に対する、実技指導研修会などを行い、指導力の強化や意識の高揚につながるよう努める。</p>
---

### 基本施策14－(3) スポーツ情報の提供

#### 目標

<p>スポーツ人口の増加を図るためには、市民への情報提供が不可欠です。その手段として、広報かさおか、新聞、テレビやインターネットなどを積極的に利用して情報発信を行うとともに、提供する情報内容の充実を図ります。</p>
--

#### 施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和3年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
基本	スポーツ情報提供事業	<p>●イベント情報やスポーツ団体を紹介することで、スポーツに関わる人口の増加を図る。</p> <p>◆ホームページや広報などを活用し、スポーツ情報の提供に努めた。また、スポーツカレンダーやスポーツサークルといった情報誌を発行し情報発信を行った。</p> <p>▲さまざまなSNS媒体を使用し、市民だけでなく、より多くの人に笠岡のスポーツ情報を発信していく。</p>	-

#### 評価

<p>2年に1回更新していた情報誌「笠岡のスポーツ」について、毎年情報を更新することとし発刊した。ホームページについては更新頻度を上げ、できるだけ迅速な情報提供を心がけた。また、広報紙においても、スポーツ情報の提供を行った。今後は地元ケーブルテレビ等</p>	B
---	---



を積極的に利用し、さらに広く情報発信を行っていききたい。

### 課題と方向性

市民に広くスポーツを広めるためには、現在使用している情報提供媒体以外にも別の手段でスポーツ情報を発信していく必要があると考える。テレビやFMラジオの出演なども行い告知していきたい。また、インスタグラム等、SNSを使った情報発信も積極的に行い、閲覧数を増やせるようなアイデアを探していきたい。

## 基本施策 15 (重点) 競技スポーツの推進

(スポーツ推進課)

### 基本施策 15 - (1) 各種スポーツ大会の開催(主催)

#### 目標

各種スポーツ大会を開催することにより、スポーツレベルの向上を行うとともに競技人口の増加を図っていきます。

#### 施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和3年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
基本	笠岡市民スポーツ大会	<p>●スポーツレベルの向上とともに、スポーツに親しむまちづくりの推進を図る。</p> <p>◆新型コロナウイルス感染拡大のため一部中止となった大会があるが、全体では12の部が大会を開催し、延べ1,047名の市民が参加した。(R2年度14部911名)</p> <p>▲新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、無理のない範囲での開催から全部開催へと繋げる。また、障害者は参加不可とはなっていないが、健常者と障害者が隔てなくスポーツに親しめるよう、関係諸課と連携して障害者スポーツ大会も開催を検討する。</p>	97
基本	カブトガニ駅伝大会	<p>●カブトガニの保護育成を啓発するとともに、駅伝競走の普及と競技人口の増加を図る。</p> <p>◆新型コロナウイルス拡大防止措置の影響で中止となったが、代替大会を開催し、65チーム292名(R2年度58チーム256名)が参加した。</p> <p>▲代替大会が好評であったため、今後、当事業を開催するにあたっての参考とし、参加者に親しみを持ってもらえる事業としたい。</p>	186



基本	べいふあーむ笠岡マラソン大会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全国のマラソン愛好家に笠岡を体感してもらうとともに、笠岡を情報発信できるマラソン大会を目指す。</li> <li>◆新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。 (R2 年度代替大会「笠岡陸上競技場市民開放デー」開催 170 名参加)</li> <li>▲新型コロナウイルス感染拡大が一段落し、各所でマラソン大会が開催されている状況であるが、状況に応じて開催の是非は検討の必要がある。</li> </ul>	—
基本	子どもソフトボール大会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ソフトボールを通じて、子どもたちの心と体を鍛える大会を開催する。</li> <li>◆新型コロナウイルス感染拡大の影響で、当初予定していた日程では行えなかったため、他の大会と兼ねて開催した。 (R3 年度 7 団体, R2 年度中止)</li> <li>▲少年団(ソフトボール)の団員数が減少しているため、既存の大会の開催が困難になると予想される。</li> </ul>	19
基本	青少年柔剣道大会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●柔剣道を通じて、青少年の健全育成を図る。</li> <li>◆今年度は、柔道の部・剣道の部を日にちを分けての開催としたが、剣道の部は、大雨警報のため中止した。柔道の部は予定通り開催し 37 名が参加した。(R2 年度中止)</li> <li>▲年々競技人口が減少しているため、近隣自治体(井笠圏域)での大会も検討が必要になってくると思われる。</li> </ul>	100

## 評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民スポーツ大会では、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて中止になる大会が一部あったが、開催した大会では大きな問題が生じることもなく、実施できたと思われる。 (令和 2 年度参加実績以上の参加があった。)</li> <li>●カブトガニ駅伝大会は中止となったが、12月17日～19日に分散したセルフ形式の代替大会は好評であった。</li> <li>●べいふあーむ笠岡マラソンの中止により、代替大会を開催予定であったが、代替大会も新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。</li> </ul>	B
--	---

## 課題と方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>●新型コロナウイルス感染拡大が一段落し、全国各地でスポーツ大会等が開催されるようになってきているが、大会やイベントでクラスターが発生するなど、感染予防策は継続し、徹底する必要がある。また、感染予防策を国が都道府県に委ね、一定の基準を設けないようになったことから、都道府県の防止策はもちろんのこと、各自治体での開催の是非の判断が必要となった。また、交通規制に係る要望や、警察との協議など課題も多く、マラソン大会の在り方を検討することが必要である。 (事業を廃止する場合は、新たに全国から参加者が集まるようなスポーツ大会・イベントの検討を</li> </ul>
---

する必要あり) 継続する場合においては、全国から参加者が集まるため、市内観光も兼ねたシティプロモーション・スポーツツーリズムを意識し、商工観光課や観光協会等の連携が必要であると思われる。

- スポーツ少年団の団員数が減少傾向にあり、特にソフトボールに関しては、市内に7団存在するが、大会に出場できる団員数が確保できない団が多数あり、存続が難しい状況となっている。
- 青少年柔剣道大会においても、競技人口の減少が進み、団体戦の開催が難しい状況となっている(同じチーム所属の選手を分けて開催)。単市開催ではなく、井笠圏域での大会の開催(圏域市町合同)も必要になると考える。

## 基本施策15-(2) 競技会等の支援

### 目 標

トップレベルの競技大会やトップアスリートを招致・支援することにより、市民に夢と感動を与え、競技レベルの向上と競技人口の拡大を図ります。

### 施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和3年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
重点	べいふあーむ 駅伝大会	<p>●岡山、広島両県の実業団駅伝大会に共催し、市民に夢と感動を与え、競技レベルの向上と競技人口の増加を図る。</p> <p>◆全15チームが参加し、観客を大きく魅了した。 (R2年度中止)</p> <p>▲トップレベルの競技大会として、16年継続して開催(誘致)しており、年々改善を図り開催している。今後も継続する予定ではあるが、20回を節目として事業廃止の検討も行っている。</p>	101

### 評 価

<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催が危ぶまれたが、沿道等での応援は不許可とし、徹底した感染拡大防止策を行うことで、実施することができた。また、本事業だけでなく、トップアスリートの招致としては、四国アイランドリーグの公式戦、シーガルズやトライフープ、岡山リベッツといったプロスポーツ団体の試合を誘致し、多種多様なスポーツにおいて、プロスポーツの観戦機会を提供することができた。</p>	A
--	---

### 課題と方向性

トップレベルの競技大会観戦の流れを絶やすことなく、今後も多種多様なプロスポーツの試合等を誘致し、市民がプロスポーツを観戦する機会を提供し、スポーツに対する意識を向上させ、競技レベル・競技人口の増加を図る。

## 基本施策 15 - (3) スポーツ指導者の養成，トレーナースタッフの確保

### 目標

国民体育大会や全国大会等への参加を促進するため、高度な専門的知識と指導力をもつ指導者の育成と選手のコンディション維持のためのトレーニング指導や技術指導を行う場を設けます。

### 施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和3年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
基本	スポーツ指導者等育成事業	●高度な専門的知識と指導力をもつ指導者を育成し、国民体育大会や全国大会等への参加を促進する。 ◆新型コロナウイルス感染拡大により、実施にいたらず。 ▲トップチームの指導経験のある指導者を招いた講習会の開催や、指導資格取得のための講習会の誘致を検討する。	—

### 評価

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、トップチームでの指導経験のある指導者を招いた講習会の開催は断念したが、サッカーの指導ライセンスの講習会は陸上競技場で行うことができた。	C
---	---

### 課題と方向性

全国レベルの大会への選手や指導者の育成には、単に講習会を開催するだけではなく、学校や施設などの環境整備が不可欠で、さらには、相応の時間が必要となる。本市としては、競技力の向上のために選手育成や指導者育成を目的として、今後様々な競技において、高度な指導経験を有する指導者の招請を検討したい。

## 基本施策 15 - (4) 優秀選手の表彰

### 目標

中国大会・全国大会・国際大会へ出場する選手・団体の賞揚を行い、優秀な成績を収めた選手・団体の表彰を行って競技レベルの向上に努めます。

### 施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和3年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
基本	激励会開催事業	<p>●激励会の開催及び懸垂幕の掲揚により、出場選手を激励し、競技レベルの向上を図る。</p> <p>◆スポーツ大会で優秀な成績を残した市民に向けて、激励会を開催した。(R3年度全7回31名, R2年度4回29名) また、成績に応じて懸垂幕等の掲揚を実施。</p> <p>▲市を挙げてスポーツする方を応援し、出場する選手だけでなく、スポーツをしている市民の励みとなるよう努める。</p>	641

### 評価

<p>コロナ禍ではあるが、予定より多くの市民を激励することができた。(当初予算で計上していた以上に申請があった) 懸垂幕を張り替える際に、市役所前を通りかかる方から声をかけられることもあり、スポーツ優秀な成績を収めた市民が多数いることのアピールができていると思われる。</p>	A
--	---

### 課題と方向性

<p>今後も、優秀な成績を収めた選手、団体の激励することで、より多くの市民に知っていただき、また、スポーツをしている方の励みに繋がるよう事業を継続することで、市内の競技レベルの向上を図る。</p>
--

## 基本施策 15 - (5) 笠岡市文化・スポーツ振興財団，笠岡市スポーツ協会等との連携

### 目 標

笠岡市文化・スポーツ振興財団や，笠岡市スポーツ協会の招致する団体などと連携を密にして，競技スポーツの強化を中心に総合的なスポーツ推進を図ります。

### 施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和3年度の主な実績／■今後の方向性	決算額 (千円)
基本	スポーツ賞揚事業	<p>●出場者を激励し賞揚金を贈呈することで、競技スポーツの強化を中心にスポーツ推進を図る。</p> <p>◆賞揚内訳：世界大会1件，全国大会51件，中国大会31件（R2年度世界大会0件，全国大会16件，中国大会18件）。スポーツ協会においては，令和3年度の実績等をもとに，激励賞4名，優秀個人賞65名，優秀団体賞2団体，優秀監督賞2名（R2年度激励賞6名，優秀個人賞55名，優秀団体賞3団体，優秀監督賞2名，優秀監督特別賞1名）を選出し，賞揚した。（記念品として盾を贈呈）</p> <p>▲激励会開催事業と併せて，事業継続していく。</p>	1,864
基本	市民スポーツ振興事業	<p>●競技スポーツの強化を中心に総合的なスポーツ推進を図る。</p> <p>◆市スポーツ協会の委託事業として，さまざまなスポーツ活動等に取り組んだ。</p> <p>▲市と連携し，引き続きスポーツ事業を広く実施する。</p>	1,346
基本	スポーツ教室事業	<p>●スポーツ教室を開催し，市民スポーツの向上を目指す。</p> <p>◆基本施策14-（1）と重複</p> <p>▲基本施策14-（1）と重複</p>	215

### 評 価

激励会開催事業と同様に，市内在住の多くの選手を賞揚することができた。（懸垂幕等は当初予定以上の発注となった）。

A

### 課題と方向性

- スポーツ賞揚事業については，全国大会等出場者も年々増加していると考えている。さまざまな競技で頑張るアスリートを応援するため引き続き賞揚事業を継続して実施していきたい。
- 市民スポーツ振興事業については，市スポーツ協会の委託事業となっているが，事務局がスポーツ推進課内にあり，実質的には，市の事業と見分けがつかない状況にある。協会の法人化を検討する

などし、スポーツ協会が独自に事業を進めるようになる必要があると考える。事業内容については、市内のスポーツの普及促進のため、引き続き実施していきたい。

## 基本施策 16 スポーツ施設の整備・充実と活用

(スポーツ推進課)

### 基本施策 16 - (1) 施設整備及び充実

#### 目 標

市民のニーズを充たす施設の整備を図るとともに、既存施設の充実・活用を図って利用しやすい環境を整えます。

#### 施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／★令和3年度の主な実績／■今後の方向性	決算額 (千円)
基本	学校体育施設活用事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学校体育施設の活用を図り、地域スポーツの拠点として利用しやすい環境を整える。</li> <li>◆学校体育施設活用事業は未実施であるが、社会体育施設の茂平グラウンドの夜間照明のLED化を行った。</li> <li>▲小学校の統廃合、小中一貫教育推進により廃校した学校の体育施設を社会体育施設として利活用の検討。</li> </ul>	296

#### 評 価

学校体育施設ではないが、茂平グラウンドの照明をLED化することで、電力削減にも繋がった。また照度がアップすることにより、夜間利用者の利便性の向上にも繋がった。

B

#### 課題と方向性

- 体育施設照明のLED化を年次的に進めて行くことにより、省エネ化を図る。
- 学校体育施設を社会体育施設へ移行するための手続きや、所管替えが必要であると思われる。また、既存社会体育施設においても、もっぱら地区でのみ使用され、体育用途ではない使われ方をしている施設においては、用途廃止、所管替えの検討が必要であると思われる。

## 基本施策16－(2) 利用しやすい環境の整備

### 目 標

体力・運動能力の差異にかかわらず誰でもスポーツが楽しめるようにユニバーサルデザインを導入するなど、すべての人に優しい環境整備に努めます。

また、老朽箇所の修繕や利用者の要望を活かした改善を行うことにより、快適に利用できる施設の環境整備に努めます。

### 施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和3年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
基本	ユニバーサルデザインの導入	<p>●誰でもスポーツが楽しめるようにユニバーサルデザインを導入するなど、すべての人に優しい環境整備を図る。</p> <p>◆ハード面においては、未実施ではあるが、ソフト面においては、障がいの有無に関係なく競技可能なポッチャ購入のため、次年度予算に計上し、導入を図った。</p> <p>▲ハード面の改善をたびたび行うのは困難であるが、改善を加える際には、ユニバーサルデザインを意識した改善を行う。また、ソフト面においては、今後も多種多様な人が楽しむことのできるスポーツ用具等の購入を進める。</p>	—

### 評 価

ハード面においては、ポッチャ用具一式の購入予算を計上したことにより、令和4年度に購入することができた。(既に何件かの借用申請があり、笠岡学園といった障害者関係施設からの申請もあり、一定の効果があったと思われる。)	B
--	---

### 課題と方向性

- 個別施設における長寿命化計画を未策定であるため、長寿命化計画を策定し、年次改善等の道筋をつける。また、策定の際には、利用者全員が問題無く使える施設とするための案を盛り込む必要がある。
- 障がいの有無に関係なく、誰でも気軽に楽しむことのできるスポーツ用具等の導入は今後も継続する。



### Ⅲ 評価委員の総合評価

丹 生 裕 一 委 員

「令和3年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書」を見ると、令和3年度の笠岡市教育委員会の事務管理・執行状況には、長期化するコロナ禍において、極めて多くの事業が影響を受けるとともに、特に、学校教育においては学校規模適正化という難しい課題に直面する中で、それぞれの事業を、試行錯誤しながら工夫して推進しようとする意思と姿勢を確認した。しかしながら、総合的に見て目標は「やや目標を達成できなかった」と評価することが妥当と判断した。

続いて、一層の教育行政成果を期待し、今後の主要な課題・改善点を指摘する。

#### 1 「学び」「育ち」をつなぎ自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進について

基本施策「自立した子どもの育成」においては「新学習指導要領に対応した小・中学校ICT環境整備事業」下による、児童・生徒の学習の寄与するICT環境の整備が数年間に渡って着実にすすんでいる。合わせて、「ICT支援員配置事業」、並びに「デジタル教材活用事業」により、教員がICT機器を授業に活用することの促進が図られている。一方で、全国学力調査の結果、あるいは、児童・生徒、保護者、教員への意識調査の結果から顕著な改善が見られたとの報告はなかった。ここに極めて重要な問題があることを指摘したい。

授業に活用するためのICT機器やデジタル教材を充実させ、教員たちにそれらを授業に活用するスキルを身に付けさせることに重きを置くだけで児童・生徒の学力が向上すると考えるのは思い違いである。端的に言えば、教員の本質的な授業実践力とICT活用能力とは別物である。教科、単元、および単位時間の授業の目的を具体的、体系的に把握し、学習者の興味・感心や習熟度の実態を見抜いて、それらに応じた思考や判断を促すような話題や論点、活動内容を設定するという、本質的な指導のスキルが乏しい教員が、いかにICT機器・教材をうまく活用しようとも効果は望めない。この点については昨年度の報告書にも指摘している。しかし、先の評価委員会における教育委員会の説明や発言に、学力・学習習慣に関する各調査の結果が改善しないのは、教員の学習者理解を含む本質的な授業実践力の貧困が真の要因であることを憂慮する気配はなかった。各校の研修、学校同士での合同授業や交流活動等の機会に、外部から、ICT活用に囚われない、効果的な授業の理論と実践に長けた人材を招いた継続的な研修会等の、教員の本質的な指導スキル向上のための方策の実現を望む。

基本施策「共生の心の育成」に関して、不登校を含む、様々な課題を背負った子どもたちやその家庭への支援は、学校内部の取り組みだけでは解決が難しくなっているが、笠岡市においては、各学校からの働きかけによって教育支援センター活用が活発になっていることはよいことである。今後は、SCやSSWを各学校のケース会議に参加させる等の積極的な連携も強化していくことを望みたい。

基本施策「郷土愛の育成」、「小中一貫教育及び学校規模適正化の実施」においては、コミュニティースクール事業や小中一貫教育推進事業等において、学校運営協議会のブロック再編や学校間交流の内容や体制の変化に伴って生じる様々な課題を克服する取り



組みが継続されていることは評価できる。繁雑な作業ではあるが、それらの取り組みの一つ一つにおいて、何が達成され、何が課題として浮き彫りになったのかを毎回評価、記録し、公表する努力を継続してもらいたい。

## 2 市民一人ひとりの豊かな学びにより地域力を高める生涯学習の推進について

基本施策「いつでも、どこでも、学びたいときに学ぶことができる機会の提供」の中の「図書館事業」では、前年度に引き続いて、コロナ渦での利用者拡大のための新たなアイデアを産み出す努力がなされている。また、「公民館等講座」、「まちづくり出前講座」、さらに、基本施策「学習成果を活かしたまちづくり」の「生涯学習フェスティバル」等においてもインターネットの活用を含む、様々な創意工夫がなされている。これらの、困難な状況にあっても改善をあきらめない心意気がこのまちの地域力の基盤となるように、その他のすべての事業においても、思い切った対策のアイデアを実施・提供してもらいたい。

## 3 幅広い世代が楽しめる文化・芸術の振興と担い手の育成について

基本施策「文化財の保護・活用」「竹喬美術館の活性化と館蔵品の充実」に関して、若い世代へ文化財への理解や愛着を広げようとする明確な目的意識があることによって各事業の内容に切れ味があり、困難な状況下にあっても一定の成果を上げているようである。

基本施策「芸術文化活動の振興・交流と担い手の育成」の中の木山捷平文学選奨は、これまでの努力により全国での知名度は高まったものの、岡山県内への情報発信にも力を入れるとさらに価値が高まるのではないだろうか。

基本施策「カブトガニの保護とカブトガニ博物館の運営」では、施設改修がすすみ、コロナ後の入場者増加への準備が進んでいる。その他の調査や保護等の取り組みも着実に継続されていることは評価できる。

## 4 いつでも、どこでも、誰でも気軽に親しめる生涯スポーツの振興について

基本施策「生涯スポーツの推進」では、コロナ感染拡大の影響を受け、計画された各種スポーツ大会やスポーツ教室等の事業の多くが中止や縮小を余儀なくされる中、一部で代替の大会を実施するなどの工夫が見られた。また、「スポーツ情報提供」に関して、情報誌やホームページでの情報発信の頻度を上げる努力をしていることは意義がある。今後は、幅広い情報発信のツールの活用する計画だとの報告もあった。その際に、発信して終わるのではなく、それがどれくらいのインパクトを与えたのかが分かるデータ（例えば、閲覧回数や閲覧した感想等）を収集し、次の取り組みへのフィードバックを行うと、この基本方針の実質的な成果が期待できる。

基本施策「競技スポーツの推進」においては、競技人口やスポーツ少年団員数が減少している中においても、全国から参加者を集めるイベントの開催、全国レベルの大会を目指す選手や指導者の育成、トップアスリートの招致、優秀な成績を収めた個人、団体の激励といった競技人口の拡大と競技力向上の努力を諦めない、高い志を持った姿勢が評価できる。

### 三 谷 信 恵 委 員

「令和3年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書」と担当部署から説明を受けて、令和3年度もコロナ禍で活動が制限される中、知恵を絞り最適解を模索された一年だったと思います。そのような状況下での教育委員会の運営状況、教育委員会が管理・執行する事務、教育行政基本方針・基本施策については、総合的に見て目標は「概ね達成された」と判断いたします。

以前、教育委員の立場で内部より点検・評価を行っていましたが、今回は外部から点検・評価をするにあたり、幅広い世代に広く関わりを持つ教育委員会の施策が市民からどのように見え理解されているのか等、感じたことを述べさせていただきます。

#### 1 教育委員会の運営状況、教育委員会が管理・執行する事務

毎月の定例会や臨時会、総合教育会議により教育課題等の情報共有ができたことは評価いたします。教育委員会制度の特性は、首長からの独立性・合議制・住民による意思決定とされています。教育行政を外からの視点で指摘される教育委員おひとりおひとりの意見を尊重し、今後も中立的な意思決定を行っていただきたい。

#### 2 《「学び」「育ち」をつなぎ、自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進》

オープンスクールに行くと、教室には担任だけではなく、児童や授業の支援をする教職員を見かけることが近年多くなりました。支援が必要な児童生徒が安心して学校生活を送れるため、また教職員の校務の負担軽減のために、引き続き人員確保にご尽力願います。

「確かな学力を身に付けるための教育内容・方法の充実」の評価がCとなっています。「全国学力・学習状況調査の結果が未だ十分には改善されていない」という理由が記載され、口頭での説明では、学力向上が見られないことなどが挙げられていました。学力テストの結果は、日々の授業改善や定着に向けた取組を学校全体で推進することが本来の目的であると岡山県教育庁からの通達にも示されているので、「教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価」の対象とするべきではないと考えます。是非ご検討願います。

コロナ禍でマイナスなことばかり目立ちますが、教育現場ではリモート授業やタブレット活用などのICTを有効活用した取組が多く行われていたと思います。そのようなプラスな面も取り上げていただきたい。

9年間で子どもたちの成長を支えるという意識改革が教職員の中で進み、取組が充実してきたことは評価いたします。小中一貫教育推進事業のパンフレットが視覚的にも大変わかりやすく作られています。小中一貫教育をより多くの市民に知ってもらうために、子どものいる家庭や対象地域だけでなく市広報と一緒に配布するなど、周知する方法をご検討願います。

#### 3 《市民一人ひとりの豊かな学びにより地域力を高める生涯学習の推進》

令和2年度にコロナの影響で中止になった各事業が、令和3年度では市民の安全を第一に考え開催形式を変更し、ほとんどの行事が行われたことは評価いたします。

事業内容や参加者が類似する事業等、まとめることのできるものは見直しを検討する必要があると考えます。

4 《幅広い世代が楽しめる文化・芸術の振興と担い手の育成》

この度、白石踊がユネスコ無形文化遺産に登録される見通しとなり、一層の後継者育成の取組を期待いたします。

茅原基治の功績を題材とした教材を使って、郷土愛・人間愛を養う学習に役立ててほしいと思います。

5 《いつでも、どこでも、誰でも気軽に親しめる生涯スポーツの振興》

子どもからお年寄りまで幅広い世代が楽しめるスポーツ事業が開催されており、市民の健康増進のため引き続き継続をお願いいたします。また、子どもたちが夢を持てるよう、トップアスリートの招致を推進しプロスポーツを観戦する機会をさらに増やしていただきたい。

最後に、教育委員会は地域社会に身近な存在であり、ボトムアップで多様な意見を尊重したり前向きに検討したりするなど、笠岡市の実態に沿った施策を推進することを強く望みます。

## 樋之津秀治委員

「令和3年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書」に基づいた担当部署からの説明・質疑応答を通じて、点検・評価については適正に行われており、総合評価としては長引くコロナ禍の中で「目標が概ね達成された」と判断しました。

以下報告書および説明から感じたことを述べさせていただきます。

### 1 教育委員会が管理・執行する事務について

教育委員会としての情報共有や、総合教育会議を通しての市長との情報共有及び意見交換等、引き続き教育行政の充実に真摯に取り組まれていると思います。令和4年度から教育委員会定例会等の議事録をホームページ上で公開する方向性が出されていますが、市民に教育委員会を周知・理解していただく取り組みとして期待したいと思います。

### 2 《「学び」「育ち」をつなぎ自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進》について

主な事業についての評価、課題と方向性について、ほぼ妥当なものと思います。ただ、今年度、点検・評価報告書の様式が変わって見やすくなっていますが、評価の記入欄に書き切れていない部分もあるように感じました。1－(1)「確かな学力を身に付けるための教育内容・方法の充実」では、様々な事業が行われており、その成果が現れてきていますが、評価が低いように思います。評価の判断材料として単年度の『学力・学習状況調査の結果』が比重として大きいのであるならば疑問符が付きまします。教育の現場において児童・生徒が短期間で変容して行く場面もありますが、多くは長期間にわたる毎日の積み重ねによるものだと思います。小・中学校9年間を通じた変容を見ていただきたいと思います。3－(1)「教育内容・組織の充実」体制作りを中心に記述されていますが、教育内容についての表記がないので、郷土愛の育成にどう結びついていくのか分かりにくいと感じました。4－(1)「新学習指導要領実施のための学習環境の充実」小中一貫教育及び学校規模適正化の実施については、着実に前進していますが、保護者・地域住民の不安をなくすための丁寧な説明を引き続きお願いしたいと思います。

### 3 《市民一人ひとりの豊かな学びにより地域力を高める生涯学習の推進》について

主な事業についての評価、課題と方向性について、妥当なものと思います。前年度に引き続きコロナ禍の中、様々な工夫をして事業を実施したのは評価できると思います。学校教育課との連携が課題となっている事業もあるので改善を期待したいと思います。

### 4 《幅広い世代が楽しめる文化・芸術の振興と担い手の育成》

主な事業についての評価、課題と方向性について、妥当なものと思います。コロナウイルスの感染対策をしながら、若年層へのアプローチを図る事業に取り組まれていることは評価できると思います。文化芸術の担い手の育成のために継続をお願いしたいと思います。

### 5 《いつでも、どこでも、誰でも気軽に親しめる生涯スポーツの振興》

主な事業についての評価、課題と方向性について、妥当なものと思います。プロスポ

ーツ団体の試合を誘致する取り組みは、市民に刺激となったと思います。スポーツ教室事業とともに継続を期待したいと思います。

## IV 資料

## 令和3年度 教育関係決算総括表

## 歳入

(単位：千円)

款	R3年度 決算額A	R2年度 決算額B	比較	
			額(A-B)	率(%)
13 分担金及び負担金	3,243	4,067	△ 824	△ 20.3
14 使用料及び手数料	30,644	29,528	1,116	3.8
15 国庫支出金	124,257	303,832	△ 179,575	△ 59.1
16 県支出金	58,435	63,459	△ 5,024	△ 7.9
17 財産収入	90	95	△ 5	△ 5.3
18 寄附金	14,276	3,516	10,760	306.0
19 繰入金	75,079	144,438	△ 69,359	△ 48.0
21 諸収入	37,038	34,359	2,679	7.8
22 市債	146,800	236,000	△ 89,200	△ 37.8
一般財源	1,962,365	1,899,293	63,072	3.3
合計	2,452,227	2,718,587	△ 266,360	△ 9.8

## 歳出

(単位：千円)

款・項	R3年度 決算額A	R2年度 決算額B	比較	
			額(A-B)	率(%)
01 教育費・教育総務費	309,903	313,895	△ 3,992	△ 1.3
02 教育費・小学校費	463,086	587,407	△ 124,321	△ 21.2
03 教育費・中学校費	271,417	328,881	△ 57,464	△ 17.5
04 教育費・幼稚園費	278,607	292,237	△ 13,630	△ 4.7
05 教育費・社会教育費	536,395	672,339	△ 135,944	△ 20.2
06 教育費・保健体育費	592,819	523,828	68,991	13.2
教育関係合計	2,452,227	2,718,587	△ 266,360	△ 9.8

## ◎ 小学校児童に係る経費の調べ

科目		H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	対前年比率	備考	
		決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額			
主な経費	児童報償費	決算(千円)	31	31	117	173	164	174	106.1	卒業記念
		1人当たり(円)	81	82	339	459	470	466	99.2	
	消耗品費	決算(千円)	27,621	24,609	30,157	31,047	47,678	30,559	64.1	
		1人当たり(円)	12,414	11,346	14,279	14,679	23,122	15,151	65.5	
	燃料費	決算(千円)	2,626	2,763	1,679	944	873	21,325	2,442.7	
		1人当たり(円)	1,180	1,274	795	446	423	10,573	2,499.5	
	光熱水費	決算(千円)	29,587	31,483	32,374	31,532	30,927	36,123	116.8	
		1人当たり(円)	13,298	14,515	15,329	14,909	14,999	17,909	119.4	
	修繕料	決算(千円)	11,867	10,654	13,392	10,751	12,062	9,253	76.7	
		1人当たり(円)	5,333	4,912	6,341	5,083	5,850	4,588	78.4	
	プール維持 管理費	決算(千円)	7,238	6,421	5,153	6,093	64	1,437	2,245.3	
		1人当たり(円)	3,253	2,960	2,440	2,881	31	712	2,296.8	
	校務員業務 委託料	決算(千円)	2,700	2,700	2,700	2,725	2,750	2,750	100.0	
		1人当たり(円)	1,213	1,245	1,278	1,288	1,334	1,363	102.2	
	図書購入費	決算(千円)	4,962	4,893	5,471	5,577	5,637	5,967	105.9	
		1人当たり(円)	2,230	2,256	2,590	2,637	2,734	2,958	108.2	
	教材備品 購入費	決算(千円)	15,795	12,659	16,509	14,987	22,158	9,345	42.2	テレビ 実物投影机 パソコン
		1人当たり(円)	7,099	5,836	7,817	7,086	10,746	4,633	43.1	
	豊かな心を 育む総合推 進事業	決算(千円)	1,888	1,834	1,759	1,697	1,627	1,344	82.6	
		1人当たり(円)	849	846	833	802	789	666	84.4	
施設維持 改良工事費	決算(千円)	15,227	17,438	17,616	12,531	12,860	8,780	68.3		
	1人当たり(円)	6,844	8,040	8,341	5,925	6,237	4,353	69.8		
GIGA 賃借料	決算(千円)	—	—	—	23,892	31,856	31,856	100.0	リース料	
	1人当たり(円)	—	—	—	11,296	15,449	15,794	102.2		
GIGA 備品購入費	決算(千円)	—	—	—	—	62,877	21,480	34.2	タブレット(コロナ)	
	1人当たり(円)	—	—	—	—	30,493	10,649	34.9		
GIGA 委託料	決算(千円)	—	—	—	—	105,820	0	0.0		
	1人当たり(円)	—	—	—	—	51,319	0	0.0		
学校建設費	決算(千円)	194,277	150,901	180,348	192,885	12,612	73,260	580.9	大井小屋内運動場大規模 改造工事 エアコン更新・トイレ洋 式化工事	
	1人当たり(円)	87,316	69,572	85,392	91,199	6,116	36,321	593.9		
小学校費	合計(千円)	520,754	441,530	508,266	552,323	587,407	463,086	78.8		
	1人当たり(円)	234,047	203,564	240,656	261,146	284,872	229,591	80.6		

児童数(人)	2,225	2,169	2,112	2,115	2,062	2,017	97.8
6年生(人)	383	379	345	377	349	373	106.9

※ 児童数は5/1現在の人数。

◎ 中学校生徒に係る経費の調べ

科目		H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度		備考	
		決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	対前年比率		
主な経費	生徒報償費	決算(千円)	120	109	180	234	236	216	91.5	卒業記念
		1人当たり(円)	316	310	573	701	711	732	103.0	
	消耗品費	決算(千円)	19,563	13,265	13,330	15,313	13,268	22,453	169.2	
		1人当たり(円)	18,721	13,318	13,644	15,934	13,952	24,485	175.5	
	燃料費	決算(千円)	625	708	617	555	475	415	87.4	
		1人当たり(円)	598	711	632	578	499	453	90.8	
	光熱水費	決算(千円)	18,211	19,528	19,424	19,404	16,192	19,124	118.1	
		1人当たり(円)	17,427	19,606	19,881	20,191	17,026	20,855	122.5	
	修繕料	決算(千円)	5,770	6,706	7,234	5,490	5,279	5,351	101.4	
		1人当たり(円)	5,522	6,733	7,404	5,713	5,551	5,835	105.1	
	プール維持 管理費	決算(千円)	1,007	1,041	1,143	1,132	0	317	#DIV/0!	
		1人当たり(円)	964	1,045	1,170	1,178	0	346	#DIV/0!	
	校務員業務 委託料	決算(千円)	1,715	1,715	1,600	1,615	1,630	1,630	100.0	
		1人当たり(円)	1,641	1,722	1,638	1,681	1,714	1,778	103.7	
	図書購入費	決算(千円)	3,177	3,197	3,322	3,287	3,149	2,981	94.7	
		1人当たり(円)	3,040	3,210	3,400	3,420	3,311	3,251	98.2	
	教材備品 購入費	決算(千円)	7,328	8,725	7,998	9,813	10,215	4,922	48.2	テレビ プロジェクター 実物投影機 パソコン
		1人当たり(円)	7,012	8,760	8,186	10,211	10,741	5,368	50.0	
	豊かな心を 育む総合推 進事業	決算(千円)	914	885	873	850	795	647	81.4	
		1人当たり(円)	875	889	894	884	836	706	84.5	
施設維持 改良工事費	決算(千円)	9,598	9,293	9,883	15,641	8,190	5,399	65.9		
	1人当たり(円)	9,185	9,330	10,116	16,276	8,612	5,888	68.4		
GIGA 賃借料	決算(千円)	—	—	—	9,631	12,842	12,842	100.0	リース料	
	1人当たり(円)	—	—	—	10,022	13,504	14,004	103.7		
GIGA 備品購入費	決算(千円)	—	—	—	—	29,172	0	0.0	タブレット(補助)	
	1人当たり(円)	—	—	—	—	30,675	0	0.0		
GIGA 委託料	決算(千円)	—	—	—	—	43,560	0	0.0		
	1人当たり(円)	—	—	—	—	45,804	0	0.0		
学校建設費	決算(千円)	143,586	55,792	20,336	0	6,952	16,044	230.8	東中学校屋内運動場大規模 改造工事実施設計 エアコン更新・トイレ洋 式化工事	
	1人当たり(円)	137,403	56,016	20,815	0	7,310	17,496	239.3		
中学校費	合計(千円)	340,062	255,727	225,485	259,657	328,881	271,417	82.5		
	1人当たり(円)	325,418	256,754	230,793	270,195	345,826	295,984	85.6		

生徒数(人)	1,045	996	977	961	951	917	99.0
3年生(人)	380	352	314	334	332	295	99.4

※ 生徒数は5/1現在の人数。



## ◎ 幼稚園児童に係る経費の調べ

### 幼稚園配当予算

科 目		H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算額	対前年比率	説 明	
報償費	決算(千円)	0	0	0	0	0	0	0	—		
旅費	決算(千円)	248	215	191	284	225	132	128	97.0		
需用費	消耗品費	決算(千円)	1,944	1,773	1,787	1,908	1,968	1,730	1,436	83.0	教師用含む
		1人当たり(円)	7,967	8,324	8,935	10,314	12,615	15,446	15,277	98.9	
	燃料費	決算(千円)	512	361	361	180	141	137	95	69.3	
	食糧費	決算(千円)	9	9	9	10	10	10	7	70.0	
	印刷製本費	決算(千円)	62	37	47	48	50	33	24	72.7	
		1人当たり(円)	254	174	235	259	321	295	255	86.4	
	修繕料	決算(千円)	137	92	63	118	42	61	50	82.0	
小計	決算(千円)	2,664	2,272	2,267	2,264	2,211	1,971	1,612	81.8		
役務費	通信運搬費	決算(千円)	27	28	23	23	21	13	15	115.4	
		1人当たり(円)	111	131	115	124	135	116	160	137.9	
	手数料	決算(千円)	173	144	148	136	147	120	98	81.7	
小計	決算(千円)	200	172	171	159	168	133	113	85.0		
備品購入費 (図書購入費)	決算(千円)	978	920	1,017	1,088	1,060	456	209	45.8		
豊かな心を 育む総合推 進事業	決算(千円)	302	255	233	218	199	200	115	57.5		
	1人当たり(円)	1,238	1,197	1,165	1,178	1,276	1,786	1,223	68.5		
計	予算(千円)	4,392	3,834	3,879	4,013	3,863	2,892	2,177	75.3		
園児数(人)		244	213	200	185	156	112	94	83.9		

### こども育成課関係

通信運搬費	決算(千円)	705	661	593	602	587	526	404	76.8	
光熱水費	決算(千円)	3,452	3,659	4,372	4,995	4,676	4,399	5,385	122.4	
校務員業務 委託料	決算(千円)	1,100	1,100	1,100	1,100	1,110	1,120	996	88.9	
修繕料	決算(千円)	1,818	1,697	1,944	1,769	1,704	438	292	66.7	
施設維持改 良工事費	決算(千円)	2,470	2,689	2,581	1,670	6,803	1,296	1,210	93.4	
図書購入費	決算(千円)	0	0	0	0	0	0	0	—	幼稚園配当へ
備品購入費	決算(千円)	1,678	1,568	2,897	2,722	2,525	3,057	1,013	121.1	コロナ対策補助金 含む
園建設費	決算(千円)	12,556	10,436	24,295	8,583	0	0	0	—	空調設備実施設 計・工事費
計	決算(千円)	23,779	21,810	37,782	21,441	17,405	10,836	9,300	85.8	

※ 園児数は5/1現在の人数。

## 令和3年度の主な事業

(単位：千円)

区 分	事務・事業名	決算額	備 考
教育費  2,452,227	スクールポート運営管理事業	18,049	高島, 白石島, 北木島, 六島の児童・生徒の通学
	学校運営協議会事業	1,003	小中一貫教育の導入にあたり, これまでの学校単位での設置に加え, 小中一貫教育に対応するため, 中学校ブロックでの再編・設置を行い保護者及び地域住民等の学校運営への参画や支援の促進を図った。
	一貫教育推進事業	3,737	一体型一貫校保護者説明会の実施 小中一貫教育カリキュラム運用 (国・算(数)・社・理・英・音・体・家・美) 小中一貫教育推進だよりの発行(3回) 笠岡市の小中一貫教育リーフレット作成(3月) コミュニティスクール研修会の開催(11月) 講師:宮田幸治先生(文部科学省CSマイスター)
	修学旅行キャンセル料補助事業	397	新型コロナウイルス感染症拡大防止措置により, 学校が修学旅行を中止した時に発生した経費について, 補助を行った。
	外国語指導助手配置事業	44,088	生きた英語を親しみやすく児童生徒に伝えるため外国語指導助手(ALT)を小・中学校に9名配置
	教育活動支援事業	39,442	幼・小・中学校へ非常勤支援員43名を配置
	いじめ・不登校対策総合推進事業	17,132	不登校対策支援事業(7名配置) 巡回カウンセラー等配置事業(5名配置)教育相談室 特別カウンセラー等配置事業(1名配置)教育相談室 非常勤支援員(1名配置)教育相談室 小1グッドスタート支援事業(4名配置) 特別支援教育指導員1名(学校教育課に配置)
	就学前からのスクールソーシャルワーカー活用実践研究事業	5,494	就学前からのスクールソーシャルワーカー(1名配置) 問題行動等の未然防止の充実を図るため, 就学前からの早い段階で関係機関等と連携しながら対応を行った。
	豊かな心を育む総合推進事業	2,106	学校・園の創意工夫により総合的な学習の時間やクラブ活動, 学校行事等を講師を迎えて体験学習を行ったり, 特色のある教育活動を実施。
	非常時用SIMカード貸出事業	178	新型コロナウイルス感染症拡大防止措置により, やむを得ず登校ができない児童生徒のうち, 自宅に通信環境が整っていない場合に緊急に対応できるように貸し出し用のSIMカードを契約した(10回線)。
	當繕関係	28,510	金浦中床修繕, 神内小体育館外壁改修, 富岡幼エアコン設置工事ほか
	学校施設整備事業 (トイレ洋式化工事)	9,070	小学校(4,477) 中学校(4,593)
	学校施設整備事業 (空調設備改修工事)	9,240	小学校(4,268) 中学校(4,972)
	小・中学校指導者用デジタル教科書整備事業	8,670	全小学校において, 令和2年度改訂の国語, 算数, 理科, 社会, 外国語の教科書に準拠した指導者用デジタル教科書を整備 全中学校において, 令和3年度改訂の国語, 数学, 理科, 社会, 英語の教科書に準拠した指導者用デジタル教科書を整備
	理科観察実験アシスタント配置事業	2,979	笠岡小・中央小・金浦小・城見小・大井小・吉田小・北川小・大島小・神内小に理科支援員3名を配置
	校務支援システム活用事業	10,152	児童生徒の出欠席, 成績処理等が全小・中学校で運用となり, 情報の共有化および校務の簡素化が図られた
	通学バス運行委託料	7,689	大島小, 吉田小及び北木小の児童の通学
	図書整備事業	9,157	小学校(5,967), 中学校(2,981), 幼稚園(209)
	教材備品整備事業	10,011	小学校(6,599), 中学校(3,412)
	要保護及び準要保護児童生徒援助費補助事業	41,212	小学校学用品等7,126, 中学校学用品等9,502 給食費24,584
	特別支援教育就学奨励事業	2,552	小学校学用品等539, 中学校学用品等428, 給食費1,585
	小学校における不登校対策実践研究事業	4,383	児童に対する登校支援や保護者等への相談支援 登校対策支援員5名配置(中央小・金浦小・大井小・大島小)
	授業改善・学力向上のためのデジタル教材等整備事業	2,281	クラウド上で活用できるドリル教材を整備し, 運用。より効果的活用を図るために, ICT支援員による活用促進を図った
	新学習指導要領に対応したICT環境整備事業	44,698	市内小・中学校において, 新学習指導要領に対応した授業を実施するため, 学習者用パソコン(3クラスあたりに40台セット)と授業支援システム, 無線LAN環境を整備
	学校ICT環境整備事業	32,923	市内全児童生徒がクロムブック端末を使用できるようにするため, 不足する小学校1年生の児童数分のクロムブック端末を整備した。 また, 整備された学習者用端末を自宅学習にも活用するため, 持ち帰り用のACアダプタの整備及びフィルタリングの設定を行った。
	放課後学習サポート事業	961	小・中学校に, その日の授業に関連した補充学習等を非常勤講師や教員OB, 地域の識者等を指導者とし, 各学校の実態に応じて週1回, 各1時間程度実施

## 令和3年度の主な事業

(単位：千円)

区 分	事務・事業名	決算額	備 考
	理科教育等設備整備事業	2,405	新学習指導要領の円滑な実施のため、各小学校でプログラミングスイッチ等の理科教育設備を整備した。
	小学校「かさおかホリデーチャレンジ学習支援」事業	690	希望小学校区において、地域の指導者等を講師に、月1回程度、補充的・発展的な学習を実施
	I C T 支援員配置事業	52,800	小・中学校等に学校I C T 支援員12名を配置し、月6回程度技術支援・校務支援・授業支援等の様々なサポートを実施
	落ち着いた学級づくり支援事業	509	小学校5年生および中学校1年生を対象に、総合質問紙「アイチェック」を年2回実施
	学校連携のための情報ツール整備事業	2,354	教育委員会事務局と学校との電子データ共有化をスムーズにするためにグループウェア「ミライム」を活用
	中学生学力向上に向けた検定チャレンジ	794	漢検・英検・数検の受検料を各1回補助することで、自主的・積極的に学習に取り組む力を身につけ、学習意欲の向上を図る
	JAF心のプロジェクト「夢の教室」	230	「夢先生」を迎え、実体験に基づく話やゲームを通して、フェアプレー精神や協力することの大切さ、夢を持つことの素晴らしさなどを学ぶ。※コロナのためオンラインで実施
	特別支援学級における児童生徒用タブレットパソコン整備事業	4,587	特別支援学級にタブレットパソコンや視覚的な支援の充実を図るために大型モニターを導入し、個別学習や支援を行った。
	井戸平左衛門賞	44	中学校に在籍する第2学年の生徒の中から、勉学に励み、思いやりの心やたましさをもち、他の模範となる者を表彰することによって、目標・目的をもって中学校生活を送ろうとする意欲や向上心の醸成を図る
	部活動指導員配置事業	1,399	教員の勤務負担軽減と部活動の活性化を図るため、市内6中学校へ8名の部活動指導員を配置した。(笠岡東中：バレー部、柔道 笠岡西中：美術部、技術部 金浦中：卓球部 新吉中：吹奏楽部 大島中：卓球部 白石中：バドミントン部)
	人権教育自立促進事業	384	教育上配慮を必要とする幼児・児童・生徒の自立を支援
	教育相談事業	14,780	児童・生徒及びその保護者等に対して相談、助言及び援助を実施 相談員4名配置
	大島小学校整備事業	8,678	教室不足解消を図るため長期継続契約により教室を整備した。 ・第1期分 4,342 ・第2期分 4,336
	大井小学校屋内運動場大規模改修事業	64,515	老朽化した屋内運動場を大規模改修するため、改修工事を行い、教育環境の整備を行った。
	笠岡東中学校屋内運動場大規模改修事業	6,479	老朽化した屋内運動場を大規模改修するため、実施設計を行った。
	学校教育活動継続支援事業	20,412	感染リスクを最小限にしながら円滑に教育活動を継続するため、保健衛生用品の購入や3密回避対策を実施した。
	教員業務アシスタント配置事業	25,269	教員が抱える事務作業等の負担を軽減するため配置(16名) 笠岡小, 中央小, 金浦小, 城見小, 大井小, 吉田小, 北川小, 大島小, 神内小, 笠岡東中, 笠岡西中, 金浦中, 新吉中 (兼) 今井小, 陶山小, 新山小, 神島外小, 大島中, 神島外中
	施設型給付負担金	85,206	子ども・子育て支援新制度へ移行した私立幼稚園へ施設型給付費を交付
	幼稚園一時預かり保育事業	10,103	笠岡幼, 富岡幼, 大井幼, 尾坂幼, 横江幼で一時的に教育時間外に保育実施
	生涯学習事業	875	生涯学習フェスティバル(収録, テレビ放映), 諸学級事業 たくましい笠岡っ子(年3回)参加者数47人 スピーチコンテスト, 「明るい家庭づくり」作文
	奨学金給与事業	1,894	公益財団法人坂本音一育英会(被交付者 高校生8人, 大学生1人) 藤井育英会(被交付者 高校生9人)
	成人式	874	延期していた令和2年度成人式を実施 令和3年度成人式は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により延期 【令和2年度】開催日 令和4年1月10日(月・祝) 【令和3年度】開催日 令和4年1月23日(日) 延期日 令和4年5月4日(水・祝)
	放課後子ども教室	866	市内6箇所において、地域住民の参画により子どもたちが放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験活動等を行った
	土曜日教育支援	460	市内10箇所において、地域住民の参画により子どもたちが土曜日等を安全・安心に過ごし、多様な体験活動等を行った
	地域学校協働本部事業	2,042	市内14地区(6中学校区, 15小学校区)において、地域住民の参画により学校教育の支援活動を行った

## 令和3年度の主な事業

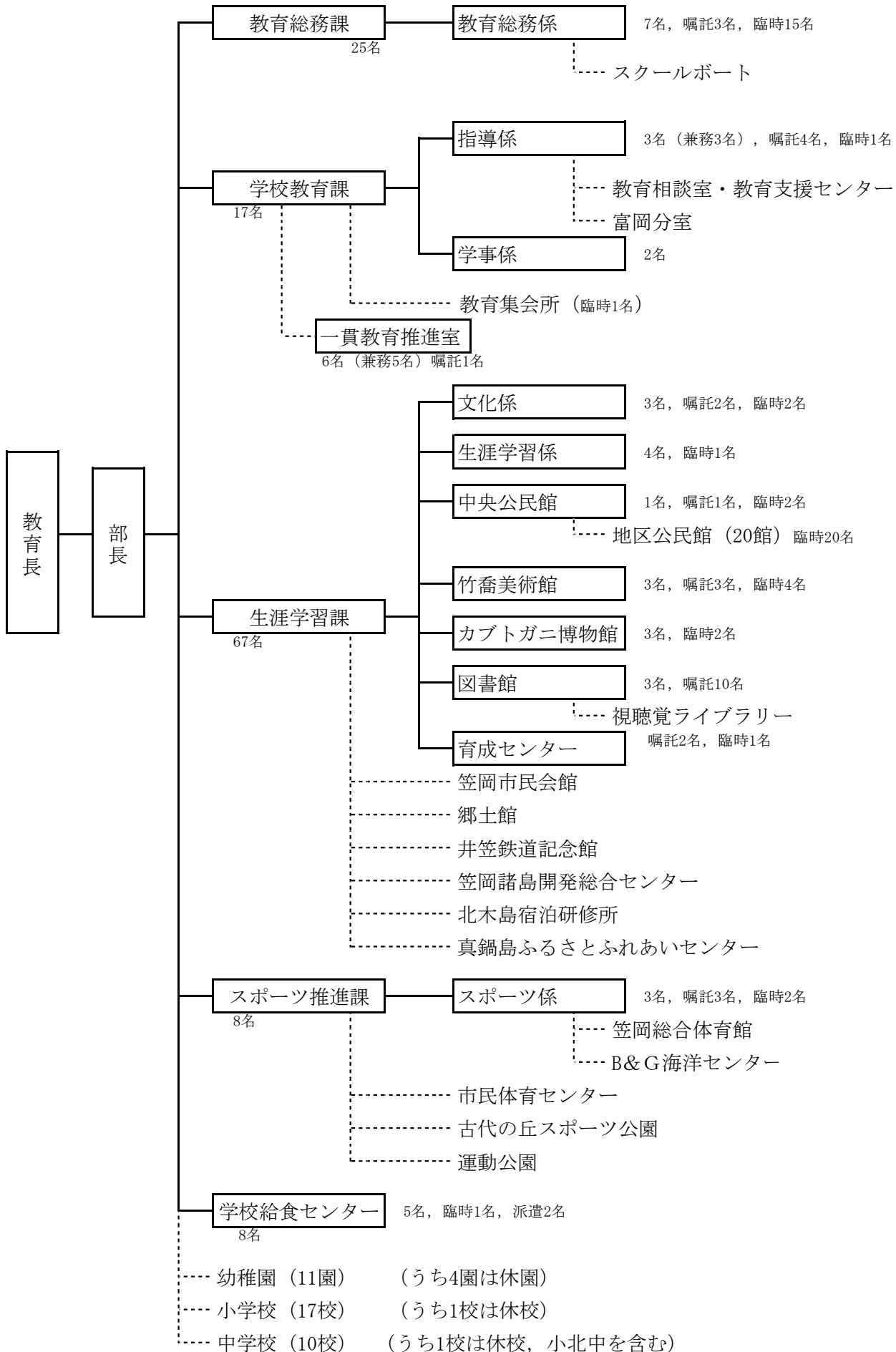
(単位：千円)

区 分	事務・事業名	決算額	備 考
	文化振興事業	758	菊花展, 文化祭, 芸能祭, 写真展, 美術展, 児童・生徒美術展 (延べ来場者数 6,361人)
	木山捷平文学選奨	2,271	第17回木山捷平文学選奨 短編小説 (全国公募), 随筆・詩・短歌・俳句・川柳
	茅原基治漫画制作事業	3,001	「マンガふるさとの偉人 茅原基治」作成・配布 2,500部作成。小中学校, 図書館, 関係機関に配布
	井笠鉄道記念館管理事業	1,104	井笠鉄道記念館管理・運営 年間入館者数2,737人 管理業務の委託, 説明板修繕, 防虫防腐剤塗布
	北木島宿泊研修事業	9,406	北木島宿泊研修所の管理運営を指定管理によって運営し, 島なら ではの宿泊体験学習を提供。空調設備を新設 延べ利用者数403人 (市内240人, 市外163人)
	笠岡子どもフェスティバル	-	新型コロナウイルス感染症の影響により, 開催を中止とした。
	青少年育成地区活動推進事業	840	各地区において青少年健全育成に取り組む団体に対し補助金を 交付し, 活動を支援 (市内各地区青少協11団体)
	公民館活動助成事業	5,784	地区公民館20館 100事業
	公民館施設整備事業	14,636	調理室改修工事 (陶山) 外壁改修工事 (飛島) サッシ取替工事 (笠岡東)
	市民会館運営事業	35,184	一般財団法人笠岡市総合福祉事業団吸江社へ管理運営を委託 非接触型体温計 1 台を整備
	図書館運営事業	111,758	来館者数66,414人 貸出冊数231,068冊 蔵書数191,121冊 (一般書127,193冊, 児童書63,928冊) カウンター業務, 巡回文庫業務, ブックスタート事業等の実施 講演会「村上海賊と笠岡」参加人数78人 本のリサイクル会 参加人数104人, 6団体 配布数1,596冊 子ども司書養成講座 (コロナ禍のため中止) 「おまかせセット」で本を借りよう! 1,220セット提供 トイレ改修工事, 屋上防水工事
	カプトガニ博物館運営事業	64,484	カプトガニ保護対策事業, 大量飼育事業, 特別展示, 特別陳列展 施設改修工事 入館者数42,173人 特別展示「鎧につつまれたいきもの」展 特別陳列「惣路紀通化石コレクション」展 飼育棟改修工事, 公園内恐竜模型修繕など
	郷土館運営事業	621	年間入館者数505人 企画展示「白石島の帆印帳と遠眼鏡」
	竹番美術館運営事業	55,323	竹番美術館展覧会事業 来館者数10,944人 特別展「絵本作家 葉祥明ー風景に託すはるかな想いー」 特別陳列「日本の溪谷を描く」 特別陳列「瀬戸内の四季 森谷南人子の世界」 特別展「歴史を旅する 谷口香嶠」 特別陳列「アートの今・岡山2021ー器ー」 特別陳列「日本の版画 万華鏡」 特別陳列「大正の文人画ネットワーク ー加野象二郎コレクションを中心にー」
	真鍋島ふるさとふれあいセンタ ー運営事業	1,363	交流学習・文化活動等を行う場を提供
	笠岡諸島開発総合センター運営 事業	2,595	交流学習・文化活動等を行う場を提供
	スポーツライフ推進事業	575	スポーツ教室, ニュースポーツ大会, スポーツ推進委員派遣等
	スポーツ振興事業	2,719	カプトガニ駅伝代替大会開催等
	全国大会等出場者賞揚掲示板 事業	641	世界・全国大会等に出場する選手を紹介する掲示板の作成及び掲示
	ファミリーウォーキング大会	200	笠岡湾干拓地内において開催されるファミリーウォーキング大会の 運営を支援

## 令和3年度の主な事業

(単位：千円)

区 分	事務・事業名	決算額	備 考
	体育施設管理事業	40,076	体育施設管理運営委託料 (28,289) 施設予約管理システム運用委託料 (1,200) AI顔認証システム導入 (コロナ) (1,100) 施設予約管理システム導入事業 (R2繰越明許) (8,798) 体育施設管理一般事務経費 (393) 茂平グラウンドLED照明機器借上料 (296)
	体育施設改修事業	38,243	体育センター多目的室床張替工事 (コロナ) (2,750) 体育センター電動カーテンレール取替工事 (2,222) 嵯峨山運動公園水路修繕工事 (128) 笠岡運動公園50mプール撤去工事 (33,143)
	海洋センター管理運営事業	10,212	島しょ部のスポーツ施設の管理運営
	総合スポーツ公園体育施設管理運営事業	45,729	笠岡総合体育館, 笠岡陸上競技場, 多目的広場の管理運営
	総合体育館改修事業	55,605	総合体育館内防災照明修繕工事 (2,200) 総合体育館空調整備改修工事 (R2繰越明許) (53,405)
	学校給食事業	333,444	小学校16校, 中学校9校 (小北中含む), 幼稚園7園



※幼稚園に係る業務は就学前教育の一元化により、こども部こども育成課が所管しています。